

平成 23 年

消 防 年 報

平成 24 年刊行

川 崎 市 消 防 局

平成 23 年 消防年報を発刊します。

本書は、平成 23 年中（一部平成 23 年度等）における「川崎市の消防」の現勢、業務概要、各種統計等を収録し、皆様に川崎市消防行政の現況を御紹介することを目的に刊行しております。

より一層の御理解、御協力をいただければ幸いに存じます。

平成 24 年 8 月

川 崎 市 消 防 局

目 次

総 括

平成 23 年度中のおもな動き ······	1
川崎市の地勢及び署所配置図 ······	3
署別の面積・世帯数・人口 ······	4
管内情勢 ······	4
消防隊等の配置状況 ······	5
消防・管理庁舎の現況 ······	6
消防局の組織 ······	8
消防局の事務分掌 ······	9
消防職員 ······	14
消防予算 ······	15
平成 24 年度川崎市消防行政重点施策 ······	16
消防情勢の推移 ······	18
消防力の推移 ······	20
消防力の整備指針に基づく 必要数と現有数の比較 ······	20

総 務

業務概要 ······	21
消防費歳出予算と火災損害額の比較 ······	23
職員の年齢 ······	24
職員の勤続年数 ······	25
職員の採用・退職状況 ······	26
職員の公務災害発生状況 ······	27
職員の居住地状況 ······	28
職員の特殊技能 ······	29
職員の表彰状況 ······	30
職員の健康管理状況 ······	30
職場外研修実施状況 ······	31
消防音楽隊・カラーガード隊演奏活動状況 ······	32
消防音楽隊・カラーガード隊 月別演奏活動状況 ······	32
消防音楽隊・カラーガード隊の編成 ······	32
消防音楽隊員・カラーガード隊員の配置 ······	32
消防総合訓練場使用状況 ······	33
消防車両等の経過年数 ······	34

警 防

業務概要 ······	35
月別災害出場状況 ······	37
署別災害出場状況 ······	38
救助隊の活動状況 ······	39
消防車両等の配置状況 ······	40
救助用資機材の配置状況 ······	42
警防用資機材の配置状況 ······	44
ホースの配置状況 ······	44
街頭用消火器配置状況 ······	45
消火薬剤及び中和剤等備蓄状況 ······	45
緊急用化学消火薬剤等協定締結状況 ······	45
消防相互応援協定 ······	46
隣接都市への火災応援状況 ······	47
隣接都市からの火災応援状況 ······	47
ガス事故発生状況 ······	48
中高層建築物の状況 ······	49
署所別消防水利の状況 ······	50
消防通信施設の状況 ······	52
消防通信受信処理状況 ······	53
携帯電話による 119 番通報受信件数の推移 ······	54
指令件数 ······	55
気象報等の発表状況 ······	56
気象状況 ······	56
消防通信系統図 ······	57
月別航空隊活動状況 ······	58
航空隊用資機材配置状況 ······	60

予 防

業務概要 ······	61
火災予防条例等に基づく届出処理状況 ······	63
防火対象物使用開始届処理状況 ······	64
消防用設備等着工届処理状況 ······	65
消防用設備等設置届処理状況 ······	66
消防用設備等点検結果報告書処理状況 ······	67
防火（防災）管理者選任状況 ······	68

消防計画届出状況	70
消防計画に基づく消防訓練実施状況	72
防火・防災管理者資格取得講習会実施状況	74
共同防火・防災管理協議事項届出状況	74
火災予防広報活動状況	75
消防広報広聴活動状況	76
検査用資機材配置状況	77
第1種・第2種・第3種防火対象物の状況	78
第1種・第2種・第3種 防火対象物の立入検査状況	80
第1種・第2種・第3種 防火対象物の違反処理状況	82
建築事務処理状況	84
月別建築事務処理状況	86
確認申請の用途別同意状況	88
許可申請の用途別同意状況	88
計画通知の用途別処理状況	88
確認申請の工事別処理状況	90
確認申請の構造別処理状況	90
危険物施設数	91
危険物施設の設置・廃止状況	92
危険物製造所等関係文書の受理状況	93
月別文書の受理状況	93
危険物施設の倍数別・類別設置状況	94
危険物屋外タンク貯蔵所設置状況	95
危険物等施設数と検査状況	96
石油類等の貯蔵量	97
石油類等の貯蔵量の推移	97
コンビナート地域の 石油類貯蔵屋外タンク分布図	98
危険物保安監督者の選任状況	100
危険物施設保安員及び 予防規程を定める対象	100
過去5年間の危険物製造所等の 施設別火災・事故件数	101
指定可燃物貯蔵取扱所状況	101
圧縮アセチレンガス等貯蔵・取扱状況	102
鑑定等実施状況	103
危険物等確認試験実施状況	103

科学機器・装置配置状況	104
-------------	-----

火災統計

火災概況	105
月別火災状況	106
覚知別火災状況	108
覚知別火災損害(月別)	110
出火時間別火災状況	112
火元用途別被害状況	114
出火箇所別被害状況	116
過去5年間の原因別火災件数	117
発火源別被害状況	118
発火源・経過別火災状況	120
車両・船舶被害状況	122
気象と火災	122
火災による死傷者の状況	123
死者を出した火災	124
おもな火災	124
5年間の火災統計	125
月別1日平均の火災	125
年別火災と死者・損害の状況	126
平成23年月別の火災と損害状況	126

救急統計

救急概況	127
事故別・隊別等救急取扱状況	128
月別・時間別救急出場件数	130
曜日別・覚知別救急出場件数	131
年齢別搬送人員	132
医療機関別搬送状況	133
事故別・業種別搬送状況	134
疾病別・傷病別搬送状況	135
不搬送の状況	135
行政区・高速道路別救急活動状況	136
傷病者の居住地別・収容医療機関別・ 傷病程度別搬送人員	137
20年間の救急出場推移	138

10年間の救急活動の推移	139	最近10年間のおもな火災	162
事故別搬送状況	139	自治体消防発足後の火災状況	164
心肺停止傷病者の状況	140	川崎市消防のあゆみ	168
応急手当普及啓発活動状況	142		
各種講習受講者数の推移	142		

消 防 団

消防団	143
消防団の定員及び現員	144
消防団員の年齢	144
消防団員の在職年数	145
消防団員の表彰状況	145
消防団員の職業	146
消防団員の公務災害状況	146
消防団の出場状況	147
消防団器具置場及び配置車両の現況	148
消防団車両等の配置及び経過年数	150

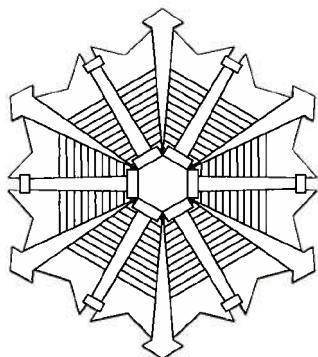
自 衛 消 防

自衛消防	151
自衛消防隊（自衛防災隊を含む）の現況	152
自衛消防備蓄消火薬剤等の状況	153
自衛消防水利及び装備の状況	153
臨港地域における企業間の防災組織	154
石油コンビナート等特別防災区域内の 備蓄消火薬剤等の状況	155
石油コンビナート等特別防災区域内の 特定事業所分布図	156
石油コンビナート等特別防災区域内の 特定事業所一覧	157
共同防災組織及び自衛防災組織に おける防災資器材等の現況	158
特定防災施設等設置対象事業所数	160

附 表

歴代消防長	161
-------	-----

総 括



川崎市消防局イメージキャラクター



太助 救急隊員



太助 消防隊員



太助 救助隊員

平成 23 年度中のおもな動き

4月

- ・宮前消防署向丘出張所に救急隊を配置し、救急隊は計 25 隊となった。



住宅用火災警報器カウントダウンコンサート

5月

- ・住宅用火災警報器の設置期限まで残り 1 ヶ月を切るにあたり、全署一斉に「住宅用火災警報器カウントダウンイベント」を管内主要駅、大型物販店等でそれぞれ開催した。



6月 6日 川崎市緊急消防援助隊救急部隊派遣終了

6月

- ・東北地方太平洋沖地震の発生に伴う川崎市緊急消防援助隊派遣が、救急部隊第 1 次派遣をもって終了した。派遣総数 75 隊 254 名

- ・川崎区東扇島 8 番地 東亜石油株式会社で石油コンビナート等特別防災区域火災防ぎよ訓練が実施され、2 日間で 64 隊 68 台が参加した。



震災工作車「双腕作業機」

7月

- ・7月から 12 月までの間、物品販売店舗 48 対象に対し、警防要員による特別立入検査を実施した。

- ・中原消防署において、震災工作車の運用を開始した。

- ・神奈川県消防相互応援協定に基づき、伊勢原市大山で発生した山岳救助事案に航空隊が出場し、要救助者 1 名を救出した。

- ・カラーガード発隊 20 周年川崎市消防音楽隊定期演奏会を教育文化会館において開催した。



カラーガード発隊 20 周年記念消防音楽隊定期演奏会

8月

- ・川崎市多摩区宿河原で平成 23 年度川崎市総合防災訓練が実施され、7 隊 7 台 1 機 81 名が参加した。

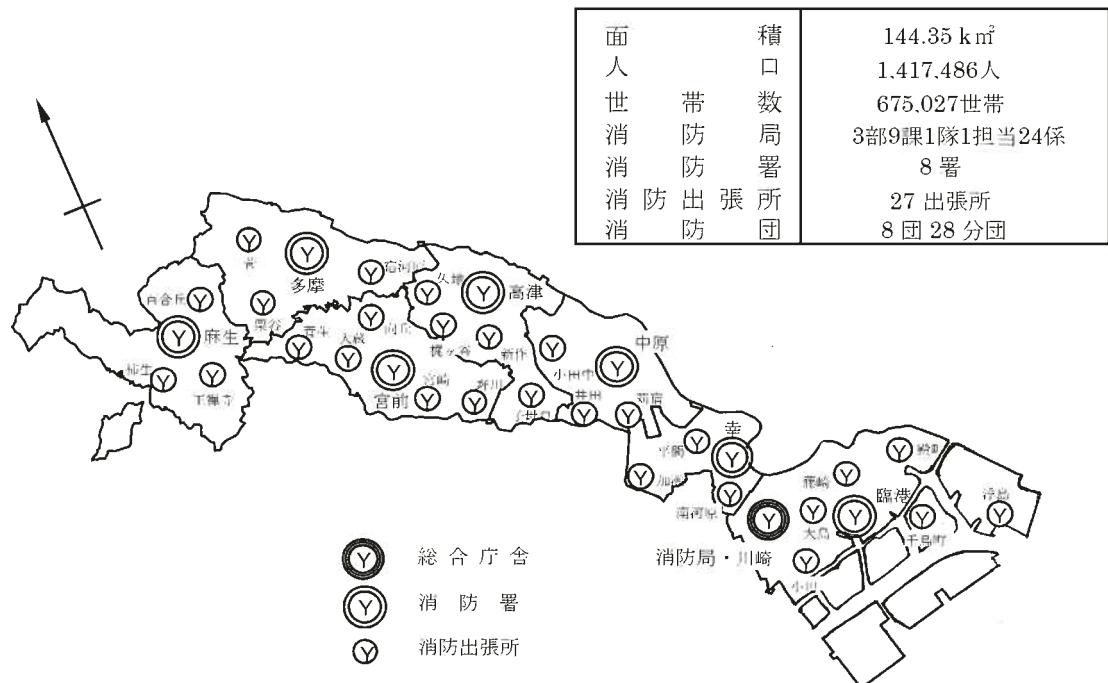
9月	<ul style="list-style-type: none"> 市内で倉庫火災が発生したことを受け、倉庫340対象に対し、特別立入検査を実施した。 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> 警防要員の査察技術の向上を目的として、第2回査察技術競技会を開催した。 市立多摩病院から東京国際空港まで、航空隊による臓器搬送を実施した。 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練が、長野県松本会場、塩尻会場で、長野県中部を震源とする大規模地震を想定とし実施され、本市から4隊1機20人が参加した。 川崎市女性消防団員発足15周年特別研修会を中原消防署において開催した。 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 小規模雑居ビル122対象に対し、所轄警察署、健康福祉局、まちづくり局及び建設総務局と合同で特別立入検査を実施した。 <p>救急出場件数が過去最多であった平成17年の59,636件を超え、初めて6万件を突破し61,163件となった。</p>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> 「防災は 地域の絆と 備えから」を統一標語とし、各消防署において地区消防出初式を実施した。 第6回九都県市合同防災訓練・図上訓練が実施され、本市でも相模湾北部を震源とするマグニチュード7.5の首都直下型地震を想定した、図上訓練が実施された。 国際消防救助隊員11名（新規隊員5名）が任命された。 国際消防救助隊総合訓練が高津区諒訪及び消防総合訓練場で実施され、国際消防救助隊員11名が参加した。 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> 臨港消防署の改築工事が完了し、新庁舎による運用を開始した。 	

川崎市の地勢及び署所配置図

(平成24年4月1日現在)

川崎市は神奈川県の北東部に位置し、北は東京都、南は横浜市にそれぞれ隣接するほか、西は多摩丘陵を控え、東は東京湾に臨んでいます。市域は、多摩川に沿って南東から北西へ延び、その最長距離は33.13kmにわたる細長い地形となっています。

また、丘陵地である北西部の住宅地域と、南東部の臨海工業地域という性格の異なった地域の結合により都市が形成されています。



臨港消防署				
本署	浮島出張所	千鳥町出張所	殿町出張所	藤崎出張所
◎			◎	◎
○	○	○	○	○

川崎消防署		
本署	小田出張所	大島出張所
◎	◎	◎
○	○	

幸消防署			
本署	南河原出張所	平間出張所	加瀬出張所
◎	◎	◎	◎
○			○

中原消防署			
本署	苅宿出張所	井田出張所	小田中出張所
◎		◎	◎
○			○

高津消防署				
本署	子母口出張所	新作出張所	梶ヶ谷出張所	久地出張所
◎		◎		◎
○	○		○	

宮前消防署					
本署	野川出張所	宮崎出張所	向丘出張所	大藏出張所	菅生出張所
◎	◎	◎	◎		◎
○				○	○

多摩消防署			
本署	宿河原出張所	菅出張所	栗谷出張所
◎		◎	◎
○	○		

麻生消防署			
本署	王禅寺出張所	百合丘出張所	柿生出張所
◎			◎
○			○

凡例 ◎ 救急隊配置署所、○ 通信員配置署・出張所

署別 の 面 積 ・ 世 帯 数 ・ 人 口

(平成24年4月1日現在)

区 分	面 積 (km ²)	世帯数	人 口	1km ² あたり		管轄行政区
				世帯数	人 口	
市 全 域	144.35	675,027	1,417,486	4,676	9,820	—
臨港消防署	32.86	45,322	92,115	1,379	2,803	川 崎 区
川崎消防署	7.39	68,292	128,421	9,241	17,378	"
幸 消 防 署	10.09	73,709	155,795	7,305	15,441	幸 区
中原消防署	14.81	116,940	230,931	7,896	15,593	中 原 区
高津消防署	17.10	102,685	216,258	6,005	12,647	高 津 区
宮前消防署	18.60	95,587	221,036	5,139	11,884	宮 前 区
多摩消防署	20.39	99,438	204,058	4,877	10,008	多 摩 区
麻生消防署	23.11	73,054	168,872	3,161	7,307	麻 生 区

(注) 人口及び世帯数の使用数値は、住民基本台帳搭載人口及び外国人登録人口(3月末日現在)によります。

管 内 情 勢

(平成24年4月1日現在)

区 分	署所数	1署所あたり			消防職員 訓令定数	消防職員1人あたり			消防車 車数	消防車1台あたり		
		面 積 (km ²)	世帯数	人 口		面 積 (km ²)	世帯数	人 口		面 積 (km ²)	世帯数	人 口
市 全 域	8 署 27 出張所	4.12	19,286	40,500	1,388	0.10	486	1,021	35	4.12	19,286	40,500
消 防 局	-	-	-	-	149	-	-	-	-	-	-	-
臨港消防署	1 署 4 出張所	6.57	9,064	18,423	184	0.18	246	501	5	6.57	9,064	18,423
川崎消防署	1 署 2 出張所	2.46	22,764	42,807	142	0.05	481	904	3	2.46	22,764	42,807
幸 消 防 署	1 署 3 出張所	2.52	18,427	38,949	150	0.07	491	1,039	4	2.52	18,427	38,949
中原消防署	1 署 3 出張所	3.70	29,235	57,733	150	0.10	780	1,540	4	3.70	29,235	57,733
高津消防署	1 署 4 出張所	3.42	20,537	43,252	155	0.11	662	1,395	5	3.42	20,537	43,252
宮前消防署	1 署 5 出張所	3.10	15,931	36,839	187	0.10	511	1,182	6	3.10	15,931	36,839
多摩消防署	1 署 3 出張所	5.10	24,860	51,015	141	0.14	705	1,447	4	5.10	24,860	51,015
麻生消防署	1 署 3 出張所	5.78	18,264	42,218	130	0.18	562	1,299	4	5.78	18,264	42,218

(注) 1 1署所あたりの面積、世帯数、人口は、各消防署の署所数で除したものです。

2 消防職員数は、訓令定数です。

3 消防車数は、普通消防ポンプ自動車及びそれと同等に運用する化学車の台数です。

消防隊等の配置状況

(平成24年4月1日現在)

(注) 1 選択隊とは、機関車のみ配置されている車両を示します。

2 乗換隊とは、人員配置されていない車両を示します。

3 水槽付ポンプ車には泡原液搬送車を含みます。

消防庁舎の現況（1）

(平成24年4月1日現在)

名 称	所 在 地	開設年月	主要建物の構造等				電話番号	
			建 築 年 月	敷 地 面 積 (m ²)	構 造・規 模	建 築 延 面 積 (m ²)		
消防局	総合庁舎	〒210-8565 川崎区南町 20-7	S23.3	H14.3	2,411.82	SRC造9F 地下1F	9,482.54	223-1199
	航空隊	〒136-0082 江東区新木場4-7-57	S60.7	H3.3	650.00 (借地)	鉄骨造3F	981.95	03-3522-0119
	消防総合訓練場	〒216-0011 宮前区犬藏 1-10-2	S54.3	S54.9	23,254.62	屋内訓練所 鉄骨造2F	1,794.68	975-0119
				S54.2		訓練塔 SRC造10F 地下1F	602.42	
			H3.4	H3.3		音楽隊事務所 RC造1F	231.00	
	出来野倉庫	〒210-0811 川崎区大師河原 2-3-14	S47.2	S47.2	460.94	RC造2F	374.59	—
	鋼管通倉庫	〒210-0852 川崎区鋼管通 1-18-56	S60.4	S60.3	88.14	鉄骨造2F	65.78	—
臨港消防署	小田中倉庫	〒211-0053 中原区上小田中 3-3-19	H8.4	H8.3	264.00 (借地)	鉄骨造2F	149.01	—
	野川倉庫	〒213-0027 高津区野川 1243	H1.4	S42.11	954.00 (借地)	RC造2F	244.80	—
	本署	〒210-0832 川崎区池上新町 3-1-5	S23.3	H23.2	1,866.85	RC造4F	2,662.81	299-0119
	浮島出張所	〒210-0862 川崎区浮島町 509-1	H10.11	H10.10	1999.36 (環境局)	鉄骨造2F	1,087.91	271-0119
	千鳥町出張所	〒210-0865 川崎区千鳥町 15-4	S37.7	H4.2	1,267.99	RC造3F	1,130.24	277-0119
川崎消防署	殿町出張所	〒210-0821 川崎区殿町 3-25-2	S41.5	H6.2	580.07	RC造3F	874.55	266-0119
	藤崎出張所	〒210-0804 川崎区藤崎 3-7-1	H19.10	H19.9	671.86	RC造2F	717.17	287-0119
	本署	〒210-8565 川崎区南町 20-7	S23.3	消防局総合庁舎に併設				223-0119
幸消防署	小田出張所	〒210-0846 川崎区小田 7-3-41	S32.2	S58.3	1,578.20	RC造2F	548.10	366-0119
	大島出張所	〒210-0836 川崎区大島上町 20-3	S23.3	S63.3	231.40	RC造3F	444.17	333-0119
	本署	〒212-0005 幸区戸手 2-12-1	S46.5	H22.3	1,629.98	RC造4F	2,107.00	511-0119
中原消防署	南河原出張所	〒212-0016 幸区南幸町 2-38	S23.3	S62.1	276.32	RC造3F	441.13	533-0119
	平間出張所	〒212-0053 幸区下平間 4	S28.12	S49.9	528.96	RC造2F	390.43	522-0119
	加瀬出張所	〒212-0055 幸区南加瀬 4-18-5	S34.4	S61.4	448.25	RC造3F	514.47	599-0119
	本署	〒211-0004 中原区新丸子東3-1175-1	S23.3	H20.3	2,559.11	全体 SRC造(1F~4F) S造(5F~21F) 消防署部分 SRC造(1F~4F) S造(5Fの一部)	14,190.95 3,014.86	411-0119
中原消防署	苅宿出張所	〒211-0022 中原区苅宿 42-3	S23.3	S57.3	433.05	RC造2F	392.65	435-0119
	井田出張所	〒211-0034 中原区井田中ノ町 23-3	S33.4	S58.5	297.51	RC造2F	336.07	754-0119
	小田中出張所	〒211-0053 中原区上小田中 3-7-1	S28.12	H1.7	380.72	RC造3F	410.94	799-0119

(注) 建築延面積には、別棟面積(通信・受付室・油庫・自転車置場等)及び工作物は含みません。

消防庁舎の現況（2）

(平成24年4月1日現在)

名 称	所 在 地	開設年月	主要建物の構造等				電話番号
			建築年月	敷地面積(m ²)	構造・規模	建築延面積(m ²)	
高津消防署	本 署 〒213-0002 高津区二子 5-14-5	S23.3	H17.4	1,312.14	RC造5F	2,052.13	811-0119
	子母口出張所 〒213-0023 高津区子母口 298-2	S54.5	S54.5	600.10	RC造2F	366.59	766-0119
	新作出張所 〒213-0014 高津区新作 4-12-7	S35.8	S56.3	229.05	RC造3F	401.03	853-0119
	梶ヶ谷出張所 〒213-0035 高津区向ヶ丘 8-16	S47.4	H11.2	692.41	RC造2F	513.08	854-0119
	久地出張所 〒213-0032 高津区久地 4-11-19	S36.7	S57.3	309.41	鉄骨造2F	356.05	822-0119
宮前消防署	本 署 〒216-0006 宮前区宮前平 2-20-4	S60.7	S60.7	1,534.52	RC造4F	1,379.73	852-0119
	野川出張所 〒216-0001 宮前区野川 3417-28	S42.11	H1.3	1,060.86	RC造2F	487.34	755-0119
	宮崎出張所 〒216-0003 宮前区有馬 2-8-11	S45.2	S45.2 S62.3	761.85	RC造2F	407.94	855-0119
	向丘出張所 〒216-0022 宮前区平 1-4-17	S40.9	H4.11	388.17	RC造2F	424.10	888-0119
	犬藏出張所 〒216-0011 宮前区犬藏 1-10-2	S55.4	S55.3	消防総合訓練場内	RC造2F	341.86	976-0119
	菅生出張所 〒216-0015 宮前区菅生 3-43-23	S45.8	S45.8 H17.2	577.28	RC造2F 鉄骨造平屋	227.50 40.70	977-0119
多摩消防署	本 署 〒214-0032 多摩区拝島 2-6-1	S23.3	H3.3	1,762.92	RC造3F	1,647.33	933-0119
	宿河原出張所 〒214-0021 多摩区宿河原 3-12-1	S46.5	S46.5	391.58	RC造2F	227.50	900-0119
	菅出張所 〒214-0004 多摩区菅馬場 1-13-1	S39.6	H3.3	382.41	RC造2F	412.25	945-0119
	栗谷出張所 〒214-0039 多摩区栗谷 3-30-8	S49.9	S49.9	950.65	RC造2F	288.13	953-0119
麻生消防署	本 署 〒215-0004 麻生区万福寺1-5-4	S60.7	S60.7	1,340.90	RC造3F	1,492.57	951-0119
	王禅寺出張所 〒215-0018 麻生区王禅寺東 4-1-6	S52.5	S52.3	1,003.98	RC造2F	314.74	954-0119
	百合丘出張所 〒215-0011 麻生区百合丘 1-18-4	S38.5	H2.11	595.03	RC造2F	410.93	966-0119
	柿生出張所 〒215-0023 麻生区片平 2-30-7	S44.4	S44.3	941.18	RC造2F	220.37	989-0119

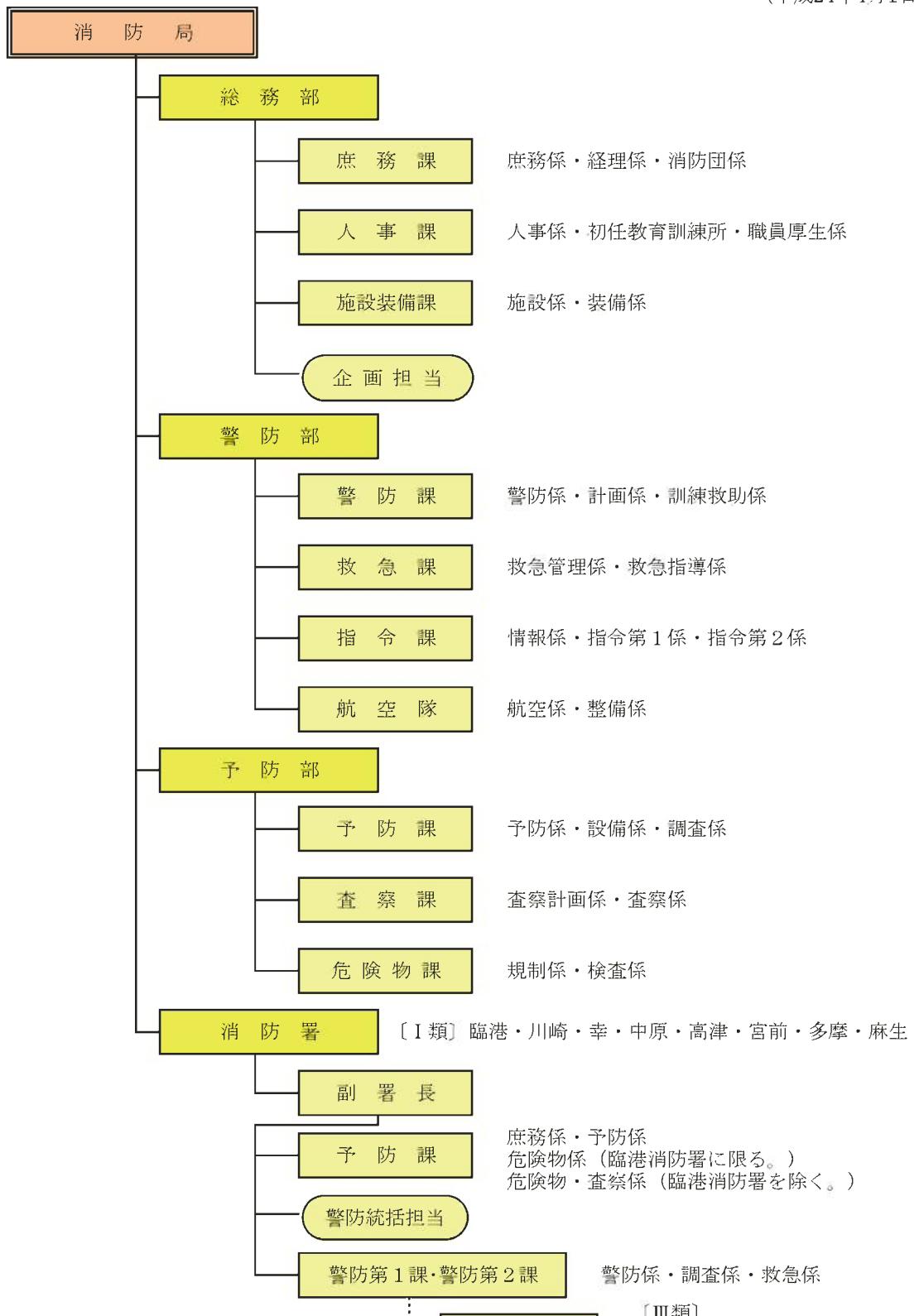
管理庁舎の現況

(平成24年4月1日現在)

名 称	所 在 地	開設年月	主要建物の構造等				戸 数
			建築年月	敷地面積(m ²)	構造・規模	建築延面積(m ²)	
小田公舎 〒210-0846 川崎区小田7-3-2	S56.5	S56.5	4,126.17	RC造4F	1,589.20	20	
幸公舎 〒212-0025 幸区古川町83	H8.4	H8.3	1,026.02	RC造3F	1,671.29	22	

消防局の組織

(平成24年4月1日現在)



消防局の事務分掌

(平成24年4月1日現在)

総務部

庶務課

庶務係・経理係・消防団係

- 局の予算及び決算に関すること。
- 公印の総括管理に関すること。
- 文書の指導総括に関すること。
- 条例案、規則案等の審査及び総括に関すること。
- 情報公開、個人情報の保護等の連絡調整に関すること。
- 市議会に関すること。
- 消防行政統計に関すること。
- 財務事務の指導等に関すること。
- 消防団の組織及び運用その他消防団に関すること。
- 消防団員等の災害補償に関すること。
- 消防関係諸機関との連絡調整に関すること。
- 全国消防長会等に関すること。
- 消防に係る広報及び広聴に関すること。
- 局内他の課の主管に属しないこと。

人事課

人事係・初任教育訓練所・職員厚生係

- 消防職員の配置及び人事評価に関すること。
- 消防職員の任免、昇給、昇格、分限、懲戒、服務、賞罰その他身分に関すること。
- 消防職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関すること。
- 消防職員の服務監察に関すること。
- 褒章及び表彰に関すること。
- 消防職員の研修、消防教育訓練及び初任実務教育に関すること。
- 消防職員の福利厚生に関すること。
- 消防職員の給与、旅費及び退職年金の支給等に関すること。
- 消防職員の安全管理、衛生管理及び公務災害補償に関すること。
- 消防職員の服制及び被服その他の貸与品に関すること。
- 消防職員委員会に関すること。
- 消防音楽隊に関すること。
- 非常勤嘱託員等に関すること。

施設装備課

施設係・装備係

- 消防用財産の取得管理及び処分に関すること。
- 消防施設の建築計画及び執務環境その他庁舎及び施設に関すること。
- 消防水利の維持管理に関すること。
- 消防用機械器具及び装備品に関すること。

企画担当

- 消防組織制度に関すること。
- 重要な施策の企画及び総合調整に関すること。
- 情報化施策に関すること。
- 川崎市消防計画に関すること。
- 消防問題調査委員会に関すること。

警 防 部

警 防 課

警防係・計画係・訓練救助係

- 消防隊等の活動計画及び出場計画に関すること。
- 消防隊等の運用に関すること。
- 消防水利計画及びその運用に関すること。
- 消防隊等の訓練及び消防隊員等の研修に関すること。
- 消防活動技術の調査研究に関すること。
- 救助業務に関すること。
- 消防応援に関すること。
- 特殊災害対策に関すること。
- 消防職員及び消防団員の動員に関すること。
- 宅地造成事業等に関する消防上の指導に関すること。
- 自衛消防隊、自主防災組織等の訓練の指導に関すること。
- 火災警報及び消防信号に関すること。
- 部内他の課の主管に属しないこと。

救 急 課

救急管理係・救急指導係

- 救急業務の基本計画に関すること。
- 救急隊の運用に関すること。
- 救急医療関係機関等との連絡調整に関すること。
- 救急救命士の養成に関すること。
- 救急隊員の資格等に関すること。
- 救急隊の訓練及び救急隊員の研修に関すること。
- 救急医療及び救急技術の調査研究に関すること。
- 応急手当の普及啓発に関すること。
- 患者等搬送事業に関すること。
- メディカルコントロール体制に関すること。

指 令 課

情報係・指令第1係・指令第2係

- 消防指令システム、消防情報管理システム及び情報機器の運用及び管理に関すること。
- 消防通信施設の運用及び管理に関すること。
- 消防指令システム及び消防情報管理システムに係る調査研究に関すること。
- 消防通信に係る調査研究に関すること。
- 災害情報の受信及び管理に関すること。
- 出場指令及び部隊の管制に関すること。
- 消防無線通信の運用及び技術指導に関すること。

航 空 隊

航空係・整備係

- 航空業務計画に関すること。
- 航空機の運航に関すること。
- 操縦訓練及び航空救助訓練に関すること。
- 航空機、付属機器等の整備に関すること。
- 航空機の整備訓練に関すること。

予 防 部

予 防 課

予防係・設備係・調査係

- 火災その他の災害の予防指導に関すること。
- 防火管理に関すること。
- 防災管理に関すること。
- 消防用設備等に関すること。
- 建築物の消防同意等及び検査に関すること。
- 建築物の建築に係る防火上の指導に関すること。
- 火災等の調査及び調査技術の指導に関すること。
- 危険物等の確認試験に関すること。
- 消防に係る研究及び開発に関すること。
- 財団法人川崎市消防防災指導公社に関すること。
- 部内他の課の主管に属しないこと。

查 察 課

查察計画係・查察係

- 防火対象物の立入検査及び違反処理に関すること。
- 防火対象物の表示制度に関すること。
- 防火対象物の実態調査に関すること。
- 屋外の火災予防に関すること。
- 小規模雑居ビル等の防火安全対策に関すること。
- 消防設備士及び消防設備点検資格者の指導等に関すること。

危 険 物 課

規制係・検査係

- 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 危険物製造所等の許可、完成検査及び諸届出に関すること。
- 危険物製造所等の完成検査前検査、保安検査及び自主点検に関すること。
- 危険物及び指定可燃物の立入検査並びに違反処理に関すること。
- 危険物及び指定可燃物に係る災害調査に関すること。
- 石油コンビナート等災害防止法に関すること。
- 保安に係る技術指導等に関すること。
- 危険物保安研究会に関すること。
- コンビナート安全対策委員会に関すること。

消防署

予防課

庶務係・予防係・危険物係（臨港消防署に限る。）・危険物・査察係（臨港消防署を除く。）

- 公印の保管に関すること。
- 公文書の管理に関すること。
- 署員の人事及び配置に関すること。
- 署員の給与等の支給に関すること。
- 手数料の徴収に関すること。
- 署員の安全管理、福利厚生及び公務災害に関すること。
- 署員の研修管理に関すること。
- 消防施設の保守管理に関すること。
- 物品の出納保管に関すること。
- 消防団等に関すること。
- 火災予防の実施計画に関すること。
- 広報及び広聴に関すること。
- 防火管理に関すること。
- 防災管理に関すること。
- 建築物の許可又は確認に係る同意等に関すること。
- 火災予防関係の申請及び届出に関すること。
- 屋外の火災予防に関すること。
- 防火協会等各種団体に関すること。
- 消防用設備等に関すること。
- 防火対象物に係る立入検査及び違反処理に関すること。
- 防火対象物の表示制度等に関すること。
- その他火災予防に関すること。
- 危険物製造所等の許可、承認及び届出に関すること。
- 危険物製造所等の完成検査前検査及び完成検査に関すること。
- 危険物製造所等の保安に関すること。
- 特定事業所の防災に関すること（臨港消防署に限る。）。
- 危険物施設等に係る立入検査及び違反処理に関すること。
- 少量危険物及び指定可燃物の届出並びにタンクの水張検査等に関すること。
- 特定防災施設等の届出及び検査に関すること（臨港消防署に限る。）。
- 危険物及び指定可燃物に係る災害調査に関すること。
- 危険物施設に係る消防用設備等に関すること。
- 危険物事故防止等に関すること。
- 署内他の課の所管に属しないこと。

警防第1課・警防第2課

警防係・調査係・救急係

- 災害活動に関すること。
- 警防計画及び防災対策に関すること。
- 警防体制、災害活動の指揮に関すること。
- 消防職員及び消防団員の動員に関すること。
- 火災警報、消防信号及び消防通信に関すること。
- 消防地理及び消防水利に関すること。
- 消防隊等の運用及び訓練に関すること。
- 救助業務に関すること。
- 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練の指導等に関すること。

- 圧縮アセチレンガス等の消防活動阻害物質に関すること。
- 火災の調査及び災害調査に関すること。
- 指揮情報隊に関すること。
- 火災統計に関すること。
- 災害情報及び災害現場広報に関すること。
- 課の安全管理に関すること。
- 火災予防指導等に関すること。
- 地震対策用消火器の維持管理に関すること。
- 救急活動に関すること。
- 救急隊の運用及び訓練に関すること。
- 救急資機材に関すること。
- 救急統計に関すること。
- 救急技術の研究に関すること。
- 救急の技術指導及び救急知識の普及に関すること。
- 救急告示医療機関等の連絡に関すること。
- その他救急業務に関すること。
- 消防用機械器具に関すること。
- 機関員の技術指導に関すること。
- 消防用油脂類に関すること。
- 消火薬剤等に関すること。
- 消防団の機械器具等に関すること。

出張所

- 消防施設の保守管理に関すること。
- 物品の保管に関すること。
- 広報広聴に関すること。
- 消防用機械等の保守管理に関すること。
- 警防計画に関すること。
- 消防地理及び消防水利に関すること。
- 災害情報の収集に関すること。
- 職場研修に関すること。
- 自衛消防隊、自衛防災組織等の訓練指導に関すること。
- 火災の調査及び災害調査に関すること。
- 地震対策用消火器の維持管理に関すること。
- 救急に関すること。
- 火災予防指導等に関すること。
- 消防法、川崎市火災予防条例及び川崎市防火管理等に関する規程に基づく届出等のうち、別に定めるものの処理に関すること。
- その他、消防長が定める事項に関すること。

消防職員

消防職員は、市民の生命と財産を守り、安全な地域社会実現のため各種災害に対処し、災害の防除・救急救助等の消防業務に努めています。

[消防職員の現在員]

(平成24年4月1日現在)

区分	合計	消防吏員										一般職員			
		小計	消防監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	事務職員	技術職員	
合計	1,453 (48)	1,449 (48)	1	3	12	51	196	226	422	108	430	4 (16)	1 -	3 -	
消防局	小計	221 (10)	217 (10)	1	3	4	11	51 (1)	49 (2)	32 (3)	3	63 (4)	4 -	1 -	3 -
	庶務課	15 -	14 -	1	1	1	-	6 -	4 -	1 -	-	-	1 -	1 -	-
	人事課	86 (5)	86 (5)	-	-	-	1	9 -	10 (2)	4 -	-	62 (3)	-	-	-
	施設設備課	10 -	9 -	-	-	-	1	2 -	2 -	4 -	-	-	1 -	1 -	-
	企画担当	3 -	3 -	-	-	-	1	1 -	1 -	-	-	-	-	-	-
	警防課	12 -	12 -	-	1	1	-	4 -	4 -	2 -	-	-	-	-	-
	救急課	9 (1)	9 (1)	-	-	-	1	5 -	-	3 (1)	-	-	-	-	-
	指令課	31 (2)	29 (2)	-	-	-	3	6 -	9 -	10 (2)	1 -	2 -	-	2 -	2
	航空隊	16 -	16 -	-	-	-	2	7 -	7 -	-	-	-	-	-	-
	予防課	16 (1)	16 (1)	-	1	2	-	5 (1)	6 -	1 -	1 -	-	-	-	-
消防署	小計	1,232 (38)	1,232 (38)	-	-	8	40	145 (1)	177 (4)	390 (21)	105 -	367 (12)	-	-	-
	臨港消防署	184 (2)	184 (2)	-	-	1	5	22 -	20 -	60 -	21 -	55 (2)	-	-	-
	川崎消防署	141 (5)	141 (5)	-	-	1	5	14 -	20 -	46 (1)	12 (2)	43 (2)	-	-	-
	幸消防署	149 (6)	149 (6)	-	-	1	5	17 -	25 -	46 (2)	12 (4)	43 -	-	-	-
	中原消防署	149 (8)	149 (8)	-	-	1	5	18 -	20 -	48 (1)	13 (4)	44 -	-	-	-
多摩地区	高津消防署	154 (6)	154 (6)	-	-	1	5	18 -	24 -	48 (1)	12 -	46 (2)	-	-	-
	宮前消防署	186 (3)	186 (3)	-	-	1	5	23 -	31 -	57 -	12 -	57 (1)	-	-	-
	多摩消防署	140 (7)	140 (7)	-	-	1	5	16 -	21 -	44 -	12 -	41 (5)	-	-	-
	麻生消防署	129 (1)	129 (1)	-	-	1	5	17 -	16 -	41 -	11 (1)	38 -	-	-	-

(注) 1 ()内は、女性職員で内数です。

2 休職者及び初任の教育訓練中の消防職員等を含みます。

消 防 予 算

平成24年度の本市予算額は総額で1兆2,346億7,500万4千円(対前年度比6.8%減)であり、このうち一般会計予算額は、5,956億3,226万7千円(対前年度比3.6%減)です。

消防予算額は、168億3,305万3千円(対前年度比4.6%減)であり、その主要事業は、(仮称)栗木出張所の整備、救急車両の整備、消防車両の整備、既存施設の整備充実等です。

(単位 千円)

消防費予算額(A)	平成24年度	前年(平成23年度)	増▲減
	16,833,053	17,637,205	▲ 804,152
常備消防費	14,721,008	15,227,359	▲ 506,351
職員給与費	11,464,056	11,971,295	▲ 507,239
共済費	1,769,469	1,866,215	▲ 96,746
研修事業費	37,566	52,997	▲ 15,431
一般管理経費	767,598	805,334	▲ 37,736
消防活動事業費	625,526	474,177	151,349
消防普及啓発事業費	56,793	57,341	▲ 548
非常備消防費	200,805	198,690	2,115
団員報酬	27,001	26,066	935
退職報償金	26,607	25,896	711
出務費用弁償	55,110	57,047	▲ 1,937
補助金	10,579	9,291	1,288
公務災害補償等 共済基金掛金	46,660	46,483	177
運営事業費	7,883	6,372	1,511
貸与被服費	17,342	18,430	▲ 1,088
施設運営費	9,623	9,105	518
消防施設費	1,911,240	2,211,156	▲ 299,916
救急車両等購入費	128,354	158,150	▲ 29,796
消防車両購入費	595,466	676,091	▲ 80,625
通信設備整備事業費	446,365	430,442	15,923
耐震性貯水槽建設事業費	100,489	-	100,489
庁舎等増改築事業費	316,708	590,967	▲ 274,259
庁舎等整備事業費	35,382	47,532	▲ 12,150
消防団施設等整備事業費	71,000	125,364	▲ 54,364
消火栓設置等負担金	173,642	145,463	28,179
新消防情報管理システム整備事業費	40,322	37,147	3,175
その他経費	3,512	-	3,512

(単位 千円)

市一般会計予算(B)	595,632,267	618,022,387	▲ 22,390,120
市一般会計予算に対する 消防費予算の構成比(A)/(B)	2.8 %	2.8 %	—

(単位 千円)

年 度 别	消防費(a)	市一般会計(b)	構成比(a)/(b)
22年度	当初予算	18,121,137	3.0 %
	決算	17,244,430	2.9 %
21年度	当初予算	18,737,651	3.2 %
	決算	18,052,511	3.0 %
20年度	当初予算	18,419,503	3.0 %
	決算	17,424,216	3.0 %
19年度	当初予算	18,851,751	3.4 %
	決算	18,280,451	3.5 %

平成24年度川崎市消防行政重点施策

平成23年度は、東日本大震災を教訓として、災害に強いまちづくりを進めるため、災害対応力の向上等に視点を置いた取組を行ってまいりました。

昨年度の災害を振り返りますと、7月の新潟・福島の豪雨災害、9月の台風12号・15号に伴う豪雨災害など全国各地で大規模な自然災害が発生し、甚大な被害をもたらすとともに多くの尊い人命と貴重な財産を失いました。

一方、本市における災害等に目を向けてみると、火災は平成23年中425件と平成22年中と比べ37件増加し、また、死者については10人で前年より1人減少しましたが、依然として逃げ遅れによるものが多くなっています。建物火災のうち、一般住宅や共同住宅等からの出火が64.8%を占めていることから、住宅からの出火防止を図るとともに昨年度設置期限をむかえた住宅用火災警報器の設置促進をさらに図り、火災による死者の発生を減少させることが課題となっています。

また、救急件数は、平成23年中、61,163件で平成22年に比べ3,046件増加し、インフルエンザの大流行もなかったにもかかわらず、統計を始めて以来、過去最高の件数を記録しました。今後も大規模再開発等に伴う人口増加、高齢化の進展による救急需要の増加がさらに見込まれることから、救急体制の整備や救急車の現場滞在時間の短縮をはじめとする救急需要対策に向けた取組が課題となっています。

このように消防を取り巻く多くの課題に対応するため、引き続き、東日本大震災を教訓とした取組を行うとともに、川崎市新総合計画「川崎再生フロンティアプラン・第3期実行計画（平成23年から平成25年度までの3ヵ年）」に掲げる各事業の着実な推進を図り、「川崎市新たな行財政改革プラン～第4次改革プラン～」と連携するとともに、143万の市民が「安全・安心」で暮らせるよう消防力を強化することを目的とし、計画事業について更なる充実が図れますよう、次の諸施策に取組みます。

1 防災拠点としての整備

(1) 市街化の進展への対応と消防車の現場到着時間の短縮を図る必要から、麻生区北西部方面に（仮称）栗木出張所の建設工事を行い本年度中に完了します。当初は柿生出張所の代替として運用を開始し、防災拠点の確保と初動体制の強化の基盤を整備します。

また、老朽化かつ手狭である柿生出張所の庁舎改築のため、基本・実施設計を行い、防災拠点の整備として、出張所の改築を推進します。

(2) 首都直下地震等の切迫性が指摘されていることから、地域の防災拠点となる消防署所の整備が急務であり、震災時の消防力の確保に向け、老朽化した消防出張所や消防団器具置場等の早期改築や改修について継続検討を行います。

2 災害対応力の向上

(1) 地震などによる大規模災害や複雑多様化する各種災害に迅速・確実・安全に対応するため、現場活動の要となる大隊長及び安全管理担当に対する訓練・研修等を強化し、指揮能力の向上と安全管理体制の強化を図るとともに、消防活動最小単位である消防隊の基礎活動能力の向上に向けた取組を推進します。

(2) 特別高度救助隊をはじめとする救助隊員の震災発生時の災害対応力について、首都直下型地震等に対応した、エンジンカッター（2枚刃）、ハンマードリル（ドリル型）等の救助資器材を有効かつ効果的に活用し、震災被害に的確に対応していくため、双腕作業機などと連携し、瓦礫等の排除と要救助者の早期発見のための取扱訓練及び大規模地震発生を想定した訓練を実施し、救助隊等の震災対応能力の向上を図ります。

(3) 市民の安全・安心の窓口である指令管制業務は、受信時の的確な判断や消防隊運用等の適切な指示が人命危険や被害拡大の防止に重要であることから、職員教育の充実とともに管理・監督体制や職員相互の監視体制などを徹底し、一層の指令管制業務体制の強化を図ります。

(4) 災害現場において、各級指揮者が、消防力を有効に活用し、的確で組織的な防ぎよ活動を行うことを目的とする指揮情報隊の指揮車にヘリコプター・テレビ電送システム・簡易型受信装置が配備されることから、さらなる効果的・効率的な部隊運用を図り被害の軽減を図ります。

(5) 当直操縦士全員が計器飛行証明資格を取得したことから、夜間における情報収集活動に限定して現在の勤務体制で安全に実施できるか否かを検証するとともに、夜間における情報収集訓練、屋上ヘリポートでの離着陸訓練等を積極的に行い、安全性及び災害対応力の向上を図ります。

(6) 365日運行体制確保のため、ヘリコプターの計画的な点検・整備を実施するとともに、そよかぜ2号

機の更新に向けた準備を行います。

- (7) 震災の教訓を受け、地域防災力のさらなる強化を図るため、消防団員の確保対策について、市民に対し消防団活動の重要性、活動内容等をPRするとともに、町内会、企業等と協力体制を確保し、効果的な広報や消防団協力事業所表示制度の活用など積極的な入団促進に取組みます。

また、大規模災害時に消防署及び消防団の連携と指揮命令系統を確保するため、無線機を配備し、地域防災力の強化を図ります。

3 救急体制の強化

- (1) 救急体制の強化を図るため、幸消防署南河原出張所に救急隊を配置し、現場到着時間の短縮等による救命効果の向上を図ります。
- (2) 救急車の適正な利用に向けた広報や、救急車による搬送の必要のない傷病者に対しては、市民救命士講習を修了したタクシーや民間救急を紹介するコールセンター事業（サポート救急）などの救急需要対策を引き続き推進します。
- (3) バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）による心肺蘇生、AEDによる救命効果の向上を目指し、市民救命士養成のための応急手当講習会の充実強化を図るため、救急ボランティアの普及員等の養成に向けた取組を推進します。
- (4) 「川崎市傷病者の搬送及び受入実施基準」の策定により、傷病者の円滑な搬送を行うとともに検証を実施し、併せて「川崎スタンダード体制」の運用など迅速な救急搬送と円滑な医療機関の受け入れ体制を構築するため、関係機関等と連携し救急体制の整備を図ります。

4 消防情報管理体制の高度化

- (1) アナログ式による現行の消防・救急無線（150MHz周波数帯）の利用期限が平成28年5月31日までに定められたことから、無線通話の秘匿性の向上と、消防の応援・受援体制における通信基盤の確保に向け、消防・救急無線デジタル化事業の推進を図ります。
- (2) 指令システム更新の2期目にあたり、システムの機能強化（例：車載端末から病院の診療や空床の状況を入力可能とする）を図るとともに、電源設備の未更新部分を整備し、システムの安定稼動を推進します。また、消防情報管理システム（消防OA）について、パソコンのOS更新（windows7）に伴う環境対応改修（例：画面のズレ修整）を行うほか、平成29年度運用開始を目指して情報処理や通信処理などの、高性能化、高機能化を図るため、消防OA及び消防指令システムの仕様要件の定義整理を行い、消防情報管理の高度化を計画的に推進します。

5 火災予防に向けた取組

- (1) 火災原因は、「放火（疑いを含む）」が昭和51年以来連續してトップを占めていることから、防火指導員制度等を活用し、町内会・自治会との連携により、放火火災防止対策を推進します。
- (2) 住宅防火対策として、住宅用火災警報器設置対策連絡会を活用して住宅用火災警報器の設置促進を図るとともに、維持管理に関する周知を行います。
- (3) 地域防災力の向上を図るため、「みんなが消防士」事業及び「地域防災スクール」事業を通じ、次代を担う青少年へ、一貫した防火防災教育を行います。
- (4) 火災が発生した場合に被害の拡大が予想される防火対象物等に対し、立入検査及び違反処理を重点的に実施し、効果的・効率的な運用を図り査察執行体制を強化します。また、継続や繰り返しの消防法令違反防火対象物については、予防部査察課による各署への違反是正支援体制を強化し、消防局及び消防署の査察執行体制等の充実強化を図ります。
- (5) 危険物保有事業者を対象とした立入検査及び安全担当者等講習会の継続的な実施により、危険物施設の自主保安体制の向上を図り、市内における危険物施設の安全対策の推進に努めます。

特に地下貯蔵タンクの流出事故防止対策については、適用期限である平成25年1月31日に向けて、当該対策に係る措置の推進を図ります。

また、首都直下地震等の発生の切迫性が指摘されていることから、大型石油タンク全ての早期耐震化に向けた指導の徹底を図るとともに、東日本大震災を踏まえた危険物施設等の地震・津波対策を推進します。

- (6) 東日本大震災の被害や教訓を踏まえ、コンビナート安全対策として、特定事業所における危険物施設の地震対策調査、地震対策の共有化を進め、地震対策の促進を図るとともに、市民への安全情報の発信を図ります。

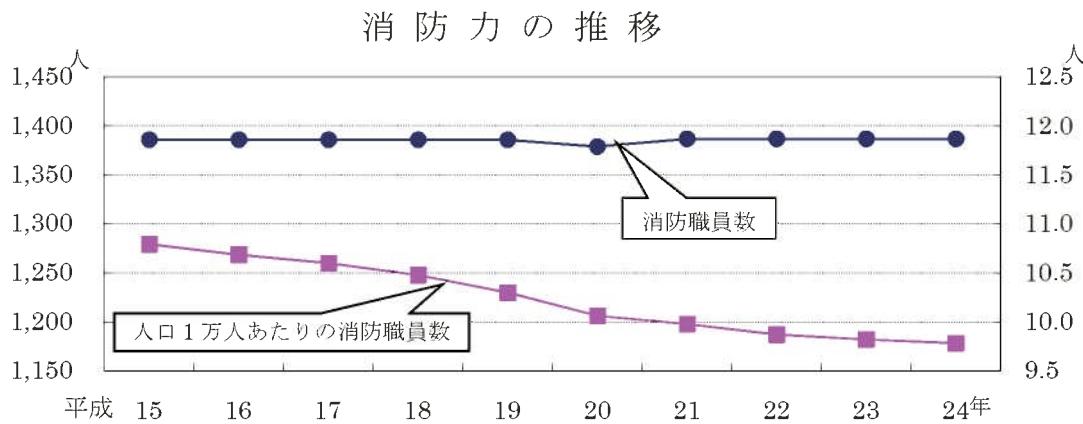
消防情勢の推移（1）

年別	市勢			署所数		消防費 当初予算 (千円)	消防職員(条例定数)		消防団			
	面積 (km ²)	世帯数	人口	署	所		消防吏員	その他の職員	団数		団員 (実数)	
									団	分団		
昭和23年	129.46	57,491	278,819	2	7	-	358	4	3	19	1,295	
昭和24年	129.46	63,344	303,641	2	7	37,400	357	16	3	22	1,286	
昭和25年	129.46	69,017	320,338	2	8	54,633	357	16	3	22	1,288	
昭和26年	129.46	74,397	341,850	2	9	61,781	357	16	3	22	1,286	
昭和27年	129.46	80,525	364,886	2	9	91,634	356	26	3	22	1,281	
昭和28年	131.25	86,604	388,992	2	9	120,138	356	26	3	22	1,278	
昭和29年	131.26	95,281	418,264	2	11	136,907	356	26	3	22	1,251	
昭和30年	131.26	100,541	432,402	2	11	142,944	356	26	3	22	1,258	
昭和31年	131.26	102,466	457,051	2	11	151,057	356	26	3	22	1,285	
昭和32年	131.26	109,939	483,460	2	12	165,921	356	26	3	22	1,282	
昭和33年	131.26	120,328	516,737	2	13	190,955	356	26	3	22	1,314	
昭和34年	131.28	131,371	551,415	2	15	219,006	399	11	3	22	1,314	
昭和35年	131.86	142,340	588,492	3	14	263,806	415	11	3	22	1,322	
昭和36年	132.97	165,483	651,005	3	15	296,463	427	11	4	24	1,322	
昭和37年	133.22	182,217	697,534	3	16	388,395	495	16	4	24	1,323	
昭和38年	135.12	199,066	740,690	3	17	464,584	512	16	4	24	1,316	
昭和39年	135.38	214,304	779,004	4	17	570,280	550	16	4	24	1,320	
昭和40年	136.16	229,495	822,600	4	18	694,456	607	16	4	24	1,299	
昭和41年	136.17	240,979	863,720	4	19	807,646	681	19	4	24	1,296	
昭和42年	136.17	255,683	891,030	4	20	928,689	739	22	4	24	1,309	
昭和43年	136.17	263,964	909,703	4	21	990,711	791	22	4	24	1,305	
昭和44年	136.17	278,977	937,648	5	21	1,203,653	857	22	5	24	1,311	
昭和45年	136.17	295,225	956,816	5	22	1,483,895	932	24	5	24	1,312	
昭和46年	136.17	288,171	972,319	5	23	1,795,656	975	24	5	24	1,298	
昭和47年	136.17	291,319	980,280	6	24	2,224,826	1,030	24	6	24	1,310	
昭和48年	136.17	295,591	991,317	6	25	2,657,528	1,124	24	6	24	1,305	
昭和49年	136.17	297,737	996,579	6	25	3,247,771	1,159	24	6	24	1,307	
昭和50年	137.53	298,702	1,000,966	6	26	4,403,746	1,233	24	6	24	1,309	
昭和51年	141.24	324,072	1,014,997	6	26	4,999,653	1,244	23	6	24	1,309	
昭和52年	141.24	327,250	1,025,138	6	26	5,787,210	1,281	23	6	24	1,286	
昭和53年	141.24	329,245	1,030,122	6	27	6,459,520	1,309	23	6	24	1,293	
昭和54年	141.24	332,289	1,037,019	6	27	6,974,767	1,346	23	6	24	1,298	

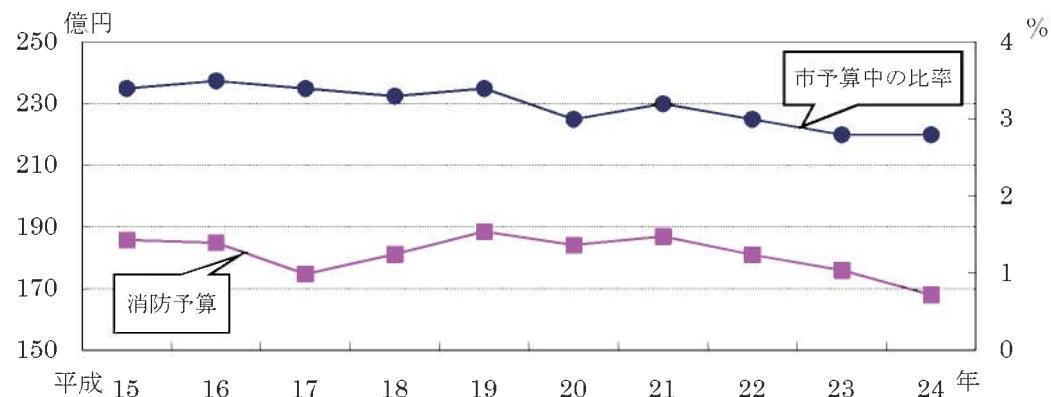
(注) 消防職員(条例定数)は、平成10年から消防吏員とその他の職員の枠を撤廃しました。余白に訓令定数の推移を記載しています。

消防情勢の推移（2）

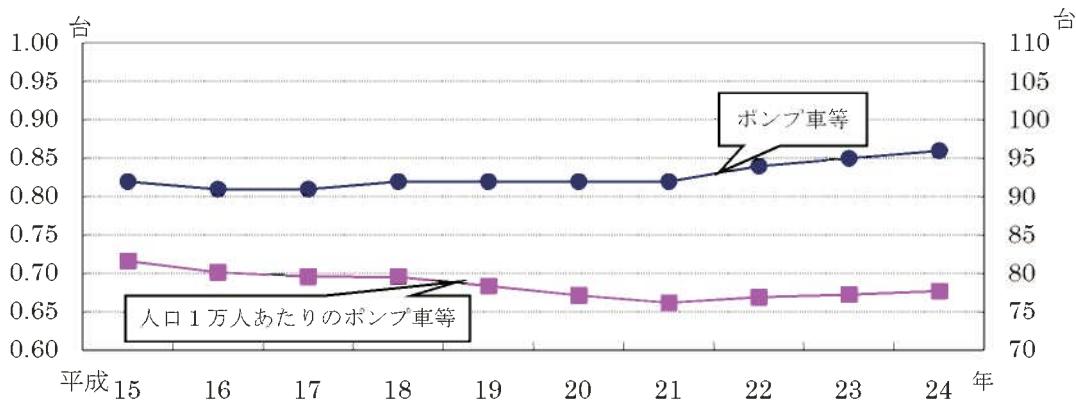
年別	市勢			署所数		消防費 当初予算 (千円)	消防職員(条例定数)		消防団		
	面積 (km ²)	世帯数	人口	署	所		消防吏員	その他の職員	団数	団員 (実数)	
昭和55年	142.16	334,965	1,041,286	6	29	7,802,996	1,350	23	6	24	1,291
昭和56年	142.16	375,511	1,037,708	6	29	8,218,706	1,354	23	6	24	1,294
昭和57年	142.21	380,800	1,044,428	6	29	9,489,202	1,354	23	6	24	1,296
昭和58年	142.21	389,799	1,056,897	6	30	9,007,258	1,354	23	6	24	1,306
昭和59年	142.63	396,241	1,067,071	6	30	10,625,256	1,354	23	6	24	1,305
昭和60年	142.63	403,010	1,078,749	6	30	10,751,409	1,354	23	6	24	1,303
昭和61年	142.63	406,168	1,091,940	8	30	11,434,255	1,354	23	8	28	1,306
昭和62年	142.63	417,787	1,110,946	8	31	11,982,008	1,354	23	8	28	1,304
昭和63年	142.63	429,974	1,128,988	8	31	12,658,941	1,354	23	8	28	1,289
平成1年	142.73	440,490	1,143,825	8	31	14,244,422	1,354	23	8	28	1,298
平成2年	142.77	451,265	1,156,650	8	31	14,468,286	1,354	23	8	28	1,286
平成3年	143.47	467,494	1,173,412	8	31	14,860,877	1,354	23	8	28	1,291
平成4年	143.73	479,191	1,184,818	8	31	15,724,296	1,354	23	8	28	1,297
平成5年	143.85	488,422	1,191,181	8	31	16,887,850	1,354	23	8	28	1,287
平成6年	143.85	494,194	1,193,850	8	31	17,253,570	1,354	23	8	28	1,252
平成7年	143.85	499,723	1,198,259	8	31	18,423,772	1,354	23	8	28	1,241
平成8年	143.87	513,417	1,198,054	8	31	17,255,803	1,354	23	8	28	1,231
平成9年	144.35	520,610	1,206,341	8	31	18,183,598	1,354	23	8	28	1,303
平成10年	144.35	529,172	1,216,711	8	31	18,475,719	1,386 [訓令定数1387]	8	28		1,278
平成11年	144.35	539,444	1,230,303	8	31	19,124,882	1,386 [訓令定数1387]	8	28		1,268
平成12年	144.35	547,828	1,239,148	8	31	20,089,952	1,386 [訓令定数1387]	8	28		1,249
平成13年	144.35	558,529	1,253,261	8	31	21,535,594	1,386 [訓令定数1387]	8	28		1,237
平成14年	144.35	571,331	1,269,979	8	31	20,705,701	1,386 [訓令定数1387]	8	28		1,237
平成15年	144.35	582,058	1,283,956	8	31	18,581,733	1,386 [訓令定数1372]	8	28		1,223
平成16年	144.35	592,333	1,296,895	8	31	18,493,017	1,386 [訓令定数1382]	8	28		1,196
平成17年	144.35	600,473	1,307,304	8	30	17,477,042	1,386 [訓令定数1380]	8	28		1,184
平成18年	144.35	611,999	1,322,432	8	30	18,114,560	1,386 [訓令定数1380]	8	28		1,192
平成19年	144.35	627,245	1,345,306	8	30	18,851,751	1,386 [訓令定数1379]	8	28		1,207
平成20年	144.35	644,189	1,370,020	8	27	18,419,503	1,379 [訓令定数1380]	8	28		1,220
平成21年	144.35	657,059	1,389,784	8	27	18,737,651	1,387 [訓令定数1386]	8	28		1,219
平成22年	144.35	665,696	1,404,532	8	27	18,121,137	1,387 [訓令定数1386]	8	28		1,197
平成23年	144.35	670,866	1,411,891	8	27	17,637,205	1,387 [訓令定数1388]	8	28		1,177
平成24年	144.35	675,027	1,417,486	8	27	16,833,053	1,387 [訓令定数1388]	8	28		1,182



(注) 消防職員は、各年4月1日現在の職員定数です。



(注) 当初の歳出予算です。



(注) ポンプ車等とは、ポンプ車、化学車、はしご車、大型高所放水車、救助工作車、高発泡車、救急車の台数です。各年4月1日現在。

消防力の整備指針に基づく必要数と現有数の比較

(平成24年4月1日現在)

区分	署 所	ポンプ車	はしご車	化学車	三 点 セット	消防艇	救急車	救 助 工 作 車	予 防 要 員	警 防 要 員	庶 務 要 員
必 要 数		37	45	8	6	1	1	27	8	175	1,219
現 有 数		35	42	8	7	1	1	26	8	139	1,108
充 足 率(%)		94.6	93.3	100.0	116.7	100.0	100.0	96.3	100.0	79.4	109.5

(注) 1 ポンプ車は、三点セットのうち泡原液搬送に使用する水槽付ポンプ車を除き算出しました。

2 三点セットは、大型化学車、大型高所放水車及び泡原液搬送車をいいます。

總務



平成23年度新規採用職員誓令交付式

業務概要

庶務課

1 特定財源内訳

平成23年度消防防災施設等整備事業に対する国及び県補助金並びに市債の充当状況は、次のとおりです。

- (1) 「国庫補助金」は、消防車両購入事業及び救助器具整備事業に対して、「緊急消防援助隊設備整備費補助金」139,917千円が交付決定され、前年度より38,885千円の増となり、当該事業中に占める割合は消防車両購入事業が25.9%、救助器具整備事業が12.4%でした。また、消防団運営事業に対して、「消防団安全対策設備整備費補助金」8,248千円が交付決定されました。
- (2) 「県補助金」は、消防・救急無線デジタル化事業（共通波共同整備）に対して、「市町村消防防災力強化支援事業費補助金」2,051千円が交付決定されました。
また、原子力防災資機材等維持管理事業に対して、「神奈川県原子力防災活動資機材等維持管理費補助金」4,818千円が交付決定されました。
- (3) 「消防施設整備事業債」は、救急車両等購入事業に対して139,000千円、消防車両購入事業に対して348,000千円、消防団車両整備事業に対して55,000千円、臨港消防署改築事業に対して356,000千円、（仮称）栗木出張所整備事業に対して5,000千円、消防指令システム更新事業に対して287,000千円、消防・救急無線デジタル化事業に対して1,000千円の合計1,191,000千円を充当しました。前年度に比べて、514,000千円の増となりました。

2 消防関係の条例等の制定改廃

法令改正に基づき、条例等の改正を実施しました。

人事課

1 任用

- (1) 大学卒程度試験区分56人、高校卒程度試験区分28人、計84人を採用しました。
(2) 昇任試験を実施し、消防士長に25人、消防司令補に21人が合格しました。
また、消防司令昇任選考を実施し、11人が合格しました。

2 叙位・叙勲

元消防正監菅原満氏は、従六位に叙せられ、瑞宝小綬章を授与され、元消防司令長橋本修氏は、正七位に叙せられ、瑞宝単光章を授与されました。

春の叙勲で元消防司監三品秀夫氏は、瑞宝小綬章を授与され、秋の叙勲で元消防正監富吉士行氏は、瑞宝小綬章を授与されました。また、第16回危険業務従事者叙勲として、元消防正監木村泰茂氏、元消防監清水保氏、萩原清美氏、小山高雄氏、上木原一志氏、岸圭助氏の皆さんは、瑞宝双光章を、元消防正監辻本典雄氏は瑞宝単光章を授与され、第17回危険業務従事者叙勲として、元消防監村野茂氏は、瑞宝双光章を、元消防監安藤宥氏、飯田洋市氏、元消防司令長日野信昭氏、渡邊好金氏の皆さんは、瑞宝単光章を授与されました。

3 職員の研修・訓練

消防職員研修は、消防職員としての責務を正しく認識させて、変遷する社会情勢のもと

らす様々な危険や災害に即応し、効率的で効果的な消防業務への取り組みと、市民に信頼される消防職員としてふさわしい人格を形成することと、また、予防・警防業務の枠を超えて、全ての業務を遂行することに必要な専門的知識・消防技術の修得向上を図り、これら業務遂行に必要な健全なる心身と確固たる使命感と倫理感を持ち合わせ、さらに、多様化する市民ニーズに対して柔軟に対応できる、消防人の育成を図ることにあります。このことから、神奈川県消防学校教育、消防大学校教育、局内専門研修等、年度研修計画に基づき実施しました。

施設装備課

1 消防施設の整備

臨港消防署改築工事の完了、麻生消防署栗木出張所基本・実施設計、多摩消防署の空調機の改修工事を実施したほか、軽易な補修工事及び小破修理工事を実施しました。

2 車両等の更新

(1) 長期間使用により機能の低下した高規格救急自動車5台、はしご付消防自動車2台、消防ポンプ車1台、大型ポンプ自動車1台、ホース延長車1台、広報車1台（リース）計11台を更新整備しました。

(2) 消防車両等246台（消防団車両を含む）について車検、定期点検、整備及び修理等を行いました。

3 装備品等

消防用ホース70本、上下式防火衣95着、空気呼吸器9基、空気ポンベ40本を整備し、装備の充実・強化を図るとともに、法令に基づく高圧ガス容器の再検及び水難救助隊のレギュレーター、水中ポンベ並びに絶縁保護具の点検を行いました。

企画担当

1 消防署所の適正配置の推進

災害対応力の向上とともに、市内の消防体制の均一化を図るために、消防ポンプ車の有効稼動範囲等を考慮し、効率的で効果的な消防署所等の配置とするための見直しを行い、消防力が不足している地域への消防出張所の新設を検討しました。また、市域全体のバランスを考慮し、救急隊の現場到着時間の短縮・地域格差の解消に向け、宮前消防署向丘出張所へ救急隊を増隊しました。

2 「新総合計画川崎再生フロンティアプラン」及び「川崎市新たな行財政改革プラン」の推進

関係局と連携を図り、市政運営の基本方針となる「新総合計画川崎再生フロンティアプラン第3期実行計画」及び「川崎市新たな行財政改革プラン」の推進に取組みました。

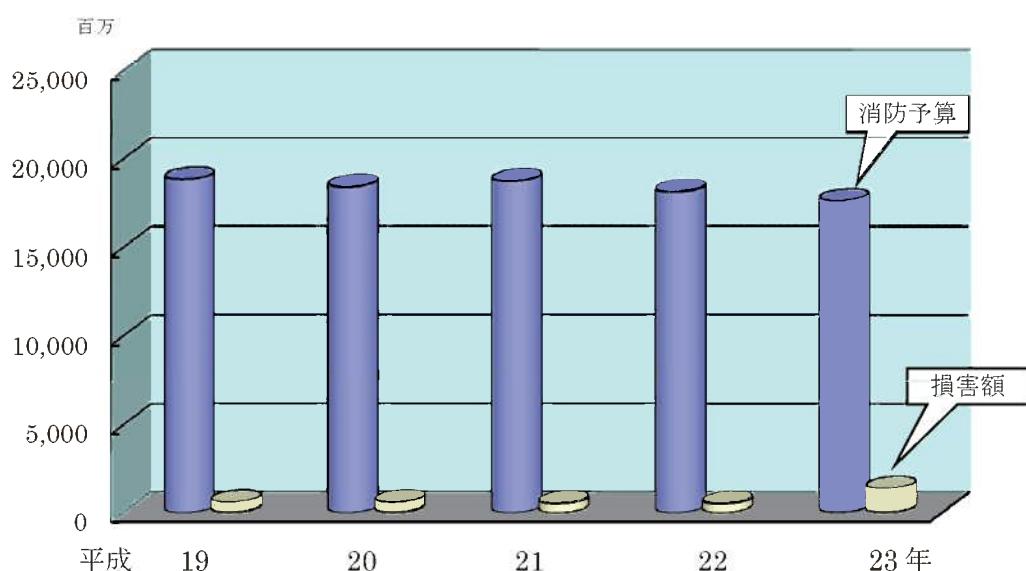
3 権限移譲に向けた取組み

地方主権改革の推進による県の事務の基礎自治体への移譲について、神奈川県や本市関係局等からの情報収集や地方分権に関する会議への出席など、権限移譲に伴う諸準備を行い、事務の移管に向けた検討を行いました。

消防費歳出予算と火災損害額の比較

(単位 円)

区分		消防予算 (千円)	人口1人あたりの平均	1世帯あたりの平均	1km ² あたりの平均	1日あたりの平均
		損害額 (千円)				
平成19年度	当初予算	18,851,751	14,013	30,055	130,597,513	51,648,633
	損害額	588,901	438	939	4,079,674	1,613,427
平成20年度	当初予算	18,419,503	13,445	28,593	127,603,069	50,464,392
	損害額	563,103	411	874	3,900,956	1,542,748
平成21年度	当初予算	18,737,651	13,482	28,517	129,807,073	51,336,030
	損害額	514,323	370	783	3,563,027	1,409,104
平成22年度	当初予算	18,121,137	12,902	27,221	125,536,107	49,646,951
	損害額	490,264	347	747	3,396,356	1,343,189
平成23年度	当初予算	17,637,205	12,492	26,290	122,183,616	48,321,110
	損害額	1,371,842	972	2,045	9,503,582	3,758,471
平成24年度	当初予算	16,833,053	11,875	24,937	116,612,768	46,117,953



職員の年齢

(平成24年4月1日現在)

区分	合計	消防吏員										一般職員		
		小計	消防監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	事務職員	技術職員
合計(人)	1,453	1,449	1	3	12	51	196	226	422	108	430	4	1	3
平均(歳)	38.1	38.1	58.0	56.3	55.7	53.9	47.2	42.6	37.9	54.5	25.0	39.2	47.0	36.6
18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	8	8	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-
20	14	14	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
21	12	12	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-
22	34	34	-	-	-	-	-	-	-	-	34	-	-	-
23	66	66	-	-	-	-	-	-	-	-	66	-	-	-
24	62	62	-	-	-	-	-	-	-	-	62	-	-	-
25	60	60	-	-	-	-	-	-	4	-	56	-	-	-
26	54	54	-	-	-	-	-	-	11	-	43	-	-	-
27	63	63	-	-	-	-	-	-	13	-	50	-	-	-
28	58	58	-	-	-	-	-	-	24	-	34	-	-	-
29	49	49	-	-	-	-	-	-	25	-	24	-	-	-
30	60	60	-	-	-	-	-	5	37	-	18	-	-	-
31	58	58	-	-	-	-	1	9	40	-	8	-	-	-
32	36	36	-	-	-	-	1	11	24	-	-	-	-	-
33	29	28	-	-	-	-	-	7	20	-	1	1	-	1
34	35	35	-	-	-	-	1	13	21	-	-	-	-	-
35	35	35	-	-	-	-	1	13	21	-	-	-	-	-
36	44	44	-	-	-	-	6	20	18	-	-	-	-	-
37	31	30	-	-	-	-	4	19	7	-	-	1	-	1
38	34	34	-	-	-	-	4	14	15	1	-	-	-	-
39	25	25	-	-	-	-	9	9	6	1	-	-	-	-
40	40	39	-	-	-	-	15	12	11	1	-	1	-	1
41	16	16	-	-	-	-	7	5	4	-	-	-	-	-
42	20	20	-	-	-	-	8	2	9	1	-	-	-	-
43	21	21	-	-	-	-	8	6	6	1	-	-	-	-
44	20	20	-	-	1	-	12	3	3	1	-	-	-	-
45	18	18	-	-	-	-	8	5	5	-	-	-	-	-
46	24	24	-	-	-	-	13	1	5	5	-	-	-	-
47	17	16	-	-	-	-	8	3	4	1	-	1	1	-
48	19	19	-	-	-	1	8	3	4	3	-	-	-	-
49	20	20	-	-	-	1	8	2	6	3	-	-	-	-
50	21	21	-	-	-	2	8	2	3	6	-	-	-	-
51	34	34	-	-	-	7	10	6	6	5	-	-	-	-
52	18	18	-	-	-	4	4	2	4	4	-	-	-	-
53	17	17	-	-	-	7	3	2	1	4	-	-	-	-
54	28	28	-	-	2	6	9	2	7	2	-	-	-	-
55	46	46	-	1	1	9	8	7	10	10	-	-	-	-
56	40	40	-	1	3	5	5	5	11	10	-	-	-	-
57	31	31	-	-	-	3	3	10	5	10	-	-	-	-
58	48	48	1	1	1	5	10	8	10	12	-	-	-	-
59	50	50	-	-	4	1	14	14	7	10	-	-	-	-
60	27	27	-	-	-	-	-	3	13	11	-	-	-	-
61	11	11	-	-	-	-	-	3	2	6	-	-	-	-

職員の勤続年数

(平成24年4月1日現在)

区分	合計	消防吏員										一般職員		
		小計	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	事務職員	技術職員
合計(人)	1,453	1,449	1	3	12	51	196	226	422	108	430	4	1	3
平均(年)	16	16	40	33	31	31	25	20	16	34	2	14	21	12
1年未満	62	62	—	—	—	—	—	—	—	—	62	—	—	—
1年	122	122	—	—	1	—	—	—	—	—	121	—	—	—
2年	72	72	—	—	—	—	—	—	1	—	71	—	—	—
3年	76	76	—	—	—	—	—	1	3	—	72	—	—	—
4年	69	69	—	—	—	—	—	—	21	—	48	—	—	—
5年	43	43	—	—	—	—	—	1	14	—	28	—	—	—
6年	35	35	—	—	—	—	—	1	23	—	11	—	—	—
7年	36	36	—	—	—	—	1	3	21	—	11	—	—	—
8年	45	45	—	—	—	—	—	9	34	—	2	—	—	—
9年	38	38	—	—	—	—	1	4	33	—	—	—	—	—
10年	52	51	—	—	—	—	1	11	37	—	2	1	—	1
11年	43	43	—	—	—	—	—	16	26	—	1	—	—	—
12年	41	40	—	—	—	—	3	14	22	—	1	1	—	1
13年	22	22	—	—	—	—	2	13	7	—	—	—	—	—
14年	28	27	—	—	—	—	8	9	10	—	—	1	—	1
15年	29	29	—	—	—	—	5	13	11	—	—	—	—	—
16年	23	23	—	—	—	—	7	7	9	—	—	—	—	—
17年	29	29	—	—	—	—	9	10	9	1	—	—	—	—
18年	19	19	—	—	—	—	5	5	8	1	—	—	—	—
19年	25	25	—	—	—	—	8	7	9	1	—	—	—	—
20年	26	26	—	—	—	—	8	8	8	2	—	—	—	—
21年	21	20	—	—	—	1	8	6	4	1	—	1	1	—
22年	21	21	—	—	—	—	9	5	7	—	—	—	—	—
23年	29	29	—	—	—	—	14	8	6	1	—	—	—	—
24年	21	21	—	—	—	—	8	4	6	3	—	—	—	—
25年	16	16	—	—	—	—	9	1	5	1	—	—	—	—
26年	13	13	—	—	—	—	4	2	3	4	—	—	—	—
27年	17	17	—	—	—	3	5	5	3	1	—	—	—	—
28年	18	18	—	—	—	4	9	2	1	2	—	—	—	—
29年	26	26	—	—	1	8	7	2	5	3	—	—	—	—
30年	17	17	—	—	—	2	5	4	4	2	—	—	—	—
31年	21	21	—	—	1	6	4	3	2	5	—	—	—	—
32年	34	34	—	1	—	9	11	1	7	5	—	—	—	—
33年	41	41	—	1	2	10	9	7	8	4	—	—	—	—
34年	33	33	—	—	3	3	6	11	2	8	—	—	—	—
35年	25	25	—	—	1	3	7	3	5	6	—	—	—	—
36年	18	18	—	1	1	—	5	5	4	2	—	—	—	—
37年	62	62	—	—	2	—	9	14	21	16	—	—	—	—
38年	24	24	—	—	—	—	2	4	9	9	—	—	—	—
39年	15	15	—	—	—	—	3	—	3	9	—	—	—	—
40年	26	26	1	—	—	2	2	1	8	12	—	—	—	—
41年	10	10	—	—	—	—	2	2	1	5	—	—	—	—
42年	6	6	—	—	—	—	—	3	1	2	—	—	—	—
43年	4	4	—	—	—	—	—	1	1	2	—	—	—	—

職員の採用・退職状況

(平成23年度)

区分		合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
採用状況別	平成21年度	77 (4)	53 (4)	-	-	2	-	-	22	-	-	-	-	-
	平成22年度	99 (4)	52 (2)	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-
	平成23年度	84 (3)	75 (3)	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-
	18歳	5 -	5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	19歳	7 -	6 -	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	20歳	4 -	2 -	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	21歳	11 (1)	6 (1)	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
	22歳	32 (2)	31 (2)	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	23歳	7 -	7 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	24歳	5 -	5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	25歳	3 -	3 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	26歳	4 -	4 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	27歳	5 -	5 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	28歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	29歳以上	1 -	1 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
区分別	大学卒程度	56 (2)	56 (2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高校卒程度	28 (1)	19 (1)	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-
	受験者 (応募者)	917 (1,193)	-	-	586 (725)	-	-	-	331 (468)	-	-	-	-	-
退職状況	定年	55 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55
	勧奨	4 -	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
	普通	9 (1)	-	-	-	-	-	1	-	1	1	3	1	2
	その他	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) ()内は、女性で内数です。

職員の公務災害発生状況

(平成23年度)

区分		合計	発生原因									治療期間														
			火災	救助	風水	査察	勤務	訓練	作業	通勤	その他	治療1か月未満						治療1か月以上								
												小計	熱傷	骨折	捻挫	挫傷・脱臼	傷創・切刺創	打撲・擦過傷	その他	小計	熱傷	骨折	捻挫	挫傷・脱臼	傷創・切刺創	打撲・擦過傷
合計		14	3	3	-	1	-	5	1	-	1	11	-	-	2	3	3	3	3	-	3	-	-	-	-	-
程度別	死亡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重症	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	中等症	3	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-	-
	軽症	11	2	3	-	1	-	3	1	-	1	11	-	-	2	3	3	3	-	-	-	-	-	-	-	
年齢別	20歳以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	21～25歳	3	-	1	-	-	-	1	-	-	1	2	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	
	26～30歳	7	1	1	-	-	-	4	1	-	-	6	-	-	2	2	1	1	1	-	-	1	-	-	-	
	31～35歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	36～40歳	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
	41～45歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	46～50歳	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	51～55歳	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	56歳以上	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
階級別	消防司監	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防正監	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防監	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防司令長	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防司令	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	
	消防司令補	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防士長	3	-	1	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	1	-	-	1	1	1	-	1	-	-	-	
	消防副士長	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防士	8	1	2	-	-	-	3	1	-	1	7	-	-	1	2	3	1	1	-	1	-	-	-	-	
所属別	消防局	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	
	臨港消防署	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	川崎消防署	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	幸消防署	4	1	-	-	-	-	2	1	-	-	3	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	
	中原消防署	3	-	1	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
	高津消防署	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	宮前消防署	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	多摩消防署	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	麻生消防署	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	

(注) 平成23年度中に地方公務員災害補償基金川崎市支部で認定されたものです。

職員の居住地状況

(平成24年4月1日現在)

区分	合計	居住地域														その他		
		市内							神奈川県			東京都						
		小計	川崎区		幸	中	高	宮	多	麻	小計	横浜	その他	小計	特別			
		計	臨港管内	川崎管内	原区	原区	津区	前区	摩区	生区	計	市	他	計	区			
合計	1,453	567	38	55	87	73	67	65	130	52	494	242	252	281	110	171	111	
消防吏員	消防司監	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	
	消防正監	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	2	-	-	-	
	消防監	12	5	1	1	-	-	-	1	1	1	4	-	1	1	-	2	
	消防司令長	51	20	4	1	3	5	3	3	1	19	12	7	5	1	4	7	
	消防司令	196	75	5	11	14	11	12	9	8	5	84	47	37	25	11	14	12
	消防司令補	226	87	4	10	20	13	7	9	18	6	87	49	38	38	8	30	14
	消防士長	422	159	10	17	23	17	17	20	36	19	146	71	75	82	29	53	35
	消防副士長	108	50	7	10	7	6	7	7	3	3	43	15	28	6	1	5	9
	消防士	430	168	7	5	20	20	21	18	60	17	108	46	62	122	57	65	32
一般職員	4	3	-	-	-	1	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	
総務部	小計	114	40	7	-	9	3	4	1	11	5	33	14	19	31	18	13	10
	庶務課	15	4	1	-	2	-	-	-	1	-	9	6	3	1	-	1	1
	人事課	86	32	6	-	5	2	4	1	10	4	20	6	14	25	13	12	9
	施設装備課	10	3	-	-	2	1	-	-	-	-	3	2	1	4	4	-	-
	企画担当	3	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	
警防部	小計	68	21	2	-	4	2	-	7	3	3	24	13	11	11	3	8	12
	警防課	12	3	1	-	-	-	-	1	-	1	3	1	2	5	2	3	1
	救急課	9	3	-	-	1	1	-	1	-	-	3	1	2	2	-	2	1
	指令課	31	11	1	-	1	1	-	4	3	1	14	8	6	3	1	2	3
	航空隊	16	4	-	-	2	-	-	1	-	1	4	3	1	1	-	1	7
予防部	小計	39	15	2	2	2	1	4	-	3	1	15	8	7	7	2	5	2
	予防課	16	5	1	2	-	-	-	-	2	-	7	2	5	2	2	-	2
	査察課	9	5	-	-	2	-	3	-	-	-	1	-	1	3	-	3	-
	危険物課	14	5	1	-	-	1	1	-	1	1	7	6	1	2	-	2	-
消防署	小計	1,232	491	27	53	72	67	59	57	113	43	422	207	215	232	87	145	87
	臨港消防署	184	73	9	13	12	12	7	4	9	7	67	42	25	26	16	10	18
	川崎消防署	141	70	2	12	15	9	6	6	15	5	43	23	20	21	10	11	7
	幸消防署	149	68	4	7	14	5	10	10	16	2	46	31	15	24	12	12	11
	中原消防署	149	60	4	4	11	11	7	8	9	6	40	20	20	24	9	15	25
	高津消防署	154	65	4	6	5	12	12	6	15	5	47	28	19	31	7	24	11
	宮前消防署	186	79	3	5	10	10	11	13	21	6	64	31	33	37	12	25	6
	多摩消防署	140	42	1	4	3	5	5	5	15	4	49	15	34	42	14	28	7
	麻生消防署	129	34	-	2	2	3	1	5	13	8	66	17	49	27	7	20	2

職員の特殊技能

(平成24年4月1日現在)

区分		合計	庶務課	人事課	企画担当	施設設備課	警防課	救急課	指揮課	航空隊	予防課	査察課	危険物課	臨港消防署	川崎消防署	幸生消防署	中原消防署	高津消防署	宮前消防署	多摩消防署	麻生消防署
			課	課	課	課	課	課	課	隊	課	察	署	署	署	署	署	署	署	署	
救急 救命士		200	-	2	-	-	-	5	3	-	-	-	-	24	26	28	23	22	26	23	18
救急II課程・標準課程修了者		694	5	7	1	3	3	3	8	3	6	5	10	87	74	81	76	84	99	66	73
建築士		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
危険物取扱者		1,042	14	23	3	9	12	9	27	11	15	9	14	129	103	107	123	120	130	92	92
非破壊関係検査者		21	1	1	-	-	-	-	1	-	1	-	3	3	3	1	1	4	-	-	2
X線作業主任者		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-
消防設備士		57	1	2	-	1	2	-	1	1	2	-	2	4	4	3	6	12	6	4	6
消防設備点検資格者		9	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	2	1
特殊建築物調査者		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
特殊	運転免許	20	1	1	-	-	1	-	1	-	-	1	-	3	2	3	5	1	-	-	1
大型		317	3	7	-	2	2	1	9	3	4	-	2	54	28	32	30	36	34	43	27
普通		1,064	11	78	3	7	10	8	19	13	11	9	12	116	107	110	112	111	140	93	94
操縦士技能証明(飛行機)		2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
事業用操縦士技能証明(回転翼)		6	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計器飛行証明		2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
自動車整備士		8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	2	1	1
航空整備士技能証明		5	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
電気主任技術者(2種)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
電気主任技術者(3種)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
電気工事士		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	2	3	-
溶接技術者		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	
3級海技士(航海)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5級海技士(航海)		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	
6級海技士(航海)		14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	3	1	-	2	-	
4級海技士(機関)		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	
5級海技士(機関)		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	-	1	-	1	-	
6級海技士(機関)		3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
小型船舶(1級)		20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	2	1	6	-	
小型船舶(2級)		96	1	5	1	-	4	-	6	1	1	-	1	17	10	10	8	10	12	6	3
衛生管理士		34	2	1	-	1	-	-	1	-	3	1	-	6	2	3	2	2	4	5	1
応急危険度判定士		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
ガス溶接技能講習		224	3	5	3	5	7	1	8	4	2	-	2	27	19	20	30	29	23	19	17
ボイラーテchnique		8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	1	-	2	
火薬類取扱主任者		6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	1	-	1	-	-	
潜水士		211	2	8	1	2	4	1	8	1	2	1	2	41	19	31	13	26	27	9	13
第2級海上特殊無線技士		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	2	-	2	-	
第1級陸上特殊無線技士		29	1	-	1	-	-	-	8	4	1	-	-	1	-	4	1	3	3	1	1
第2級陸上特殊無線技士		818	9	15	2	7	7	6	16	7	11	8	9	108	82	88	92	93	107	78	73
第3級陸上特殊無線技士		7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	1	2
レーダー級海上特殊無線技士		6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	1	-	1
航空特殊無線技士		66	3	-	2	1	3	-	10	12	-	2	-	4	3	5	6	5	4	2	4

職員の表彰状況

(平成23年度)

区分		合計	叙勲	消防庁長官	知事	市長	消防長	会全国会消防長	その他
平成21年度		438	19	14	24	120	118	104	39
平成22年度		391	12	16	27	99	123	94	20
平成23年度		371	16	10	19	85	145	71	25
内 消 防 職 員	勤務成績優秀	23	-	-	-	23	-	-	-
	勤務成績優良	103	-	-	-	-	103	-	-
	永年勤続	139	-	8	19	41	-	71	-
	火災防ぎ等優秀部隊	15	-	-	-	13	2	-	-
	その他の	45	-	2	-	-	40	-	3
訳 元 消 防 職 員	元消防職員	16	16	-	-	-	-	-	-
	協力者	3	-	-	-	2	-	-	1
団体		27	-	-	-	6	-	-	21

職員の健康管理状況

(平成23年度)

区分	受診対象者数	合計		消防局		臨港消防署		川崎消防署		幸消防署		中原消防署		高津消防署		宮前消防署		多摩消防署		麻生消防署	
		受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数	受診者数	所見者数
一般定期健康診断	1,392	1,380	514	258	72	170	76	134	43	127	47	136	58	137	52	170	58	129	55	119	53
深夜業務従事者健康診断	982	979	169	39	8	142	21	108	21	111	13	110	21	114	15	149	28	108	23	98	19
B型肝炎抗原抗体検査	1,056	1,047	-	16	-	155	-	118	-	119	-	120	-	131	-	164	-	116	-	108	-
B型肝炎予防ワクチン接種	230	230	-	1	-	37	-	22	-	29	-	23	-	28	-	33	-	32	-	25	-
破傷風予防接種	270	270	-	32	-	37	-	33	-	26	-	31	-	28	-	42	-	19	-	22	-
高気圧作業従事者健診	52	52	2	-	-	18	-	-	-	17	1	-	-	16	1	-	-	-	-	-	-
有機溶剤等特定化学物質取扱者健診	18	18	-	13	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2
航空身体検査	6	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
騒音業務従事者健診	41	41	-	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VDT作業従事者健診	15	15	-	6	-	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	5

職場外研修実施状況

(平成23年度)

消防音楽隊・カラーガード隊区分別演奏活動状況

隊員は、各消防署の警防業務に従事するかたわら音楽練習に励み、カラーガード隊「レッドウイングス」とともに消防の諸行事をはじめ、様々なイベントに参加し、市民に愛され親しまれる音楽隊として、防火・防災を呼びかけております。

平成23年7月にはカラーガード発隊20周年定期演奏会を教育文化会館において開催するなど、平成23年度中では141回の演奏活動を行いました。

(平成23年度)

区分	合計	消防関係	学校関係	公共機関	地域
合計	141 (14)	73 (9)	23 -	26 (1)	19 (4)
式・祭典	23 -	12 -	-	8 -	3 -
演奏	68 (14)	37 (9)	18 -	4 (1)	9 (4)
パレード	5 -	2 -	-	3	0
ドリル	45 -	22 -	5 -	11	7 -

(注) ()はカラーガード隊単独での活動回数で、内数です。

消防音楽隊・カラーガード隊月別演奏活動状況

(平成23年度)

合計	月平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
141 (14)	11.8 (1)	2	5	3	8	4	7	25	25	16	24	12	10

(注) ()はカラーガード隊単独での活動回数で、内数です。

消防音楽隊・カラーガード隊の編成

(平成24年4月1日現在)

合計	隊長	指揮者	ピフルコト	クラリオト	クーネボエ	オボエ	バーン	サクソフーン	トランペット	ホルン	トロンボーン	ユーフォニアム	チューバ	パーカッション
49 (17)	1 -	2 -	2 (1)	7 (2)	2 (2)	0 -	8 (3)	7 (1)	3 (1)	5 (2)	2 (1)	3 (1)	7 (4)	

(注) ()内は、カラーガード隊員で内数です。

消防音楽隊員・カラーガード隊員の配置

(平成24年4月1日現在)

合計	人事課	臨港消防署	川崎消防署	幸消防署	中原消防署	高津消防署	宮前消防署	多摩消防署	麻生消防署
49 (17)	20 (17)	1 -	5 -	3 -	4 -	6 -	5 -	3 -	2 -

(注) ()内は、カラーガード隊員で内数です。

消防総合訓練場使用状況

(平成23年中)

区分	合計	小計		消防訓練		救助訓練		剣道		研修		音楽練習		各種スポーツ		その他	
		消防 関係	一般 関係	消防 関係	一般 関係	消防 関係	一般 関係	消防 関係	一般 関係	消防 関係	一般 関係	消防 関係	一般 関係	消防 関係	一般 関係	消防 関係	一般 関係
合回数	1,574 (29)	1,442 (29)	132 -	522 (29)	-	436	-	-	4	49	-	326	-	3	122	106	6
	20,514 (534)	15,428 (534)	5,086 -	2,547 (534)	-	2,415	-	-	539	1,951	-	6,394	-	245	4,173	1,876	374
月人員	185 (3)	175 (3)	10 -	70 (3)	-	40	-	-	-	-	-	30	-	-	7	35	3
	1,966 (12)	1,390 (12)	576 -	350 (12)	-	160	-	-	-	-	-	520	-	-	256	360	320
月人員	112 (1)	106 (1)	6 -	25 (1)	-	32	-	-	23	-	23	-	-	-	6	3	-
	1,937 (15)	1,727 (15)	210 -	120 (15)	-	192	-	-	920	-	450	-	-	-	210	45	-
月人員	94 -	84 -	10 -	20	-	28	-	-	15	-	21	-	-	-	10	-	-
	1,770 -	1,385 -	385 -	83	-	182	-	-	600	-	520	-	-	-	385	-	-
月人員	119 (2)	107 (2)	12 -	31 (2)	-	35	-	-	2	2	-	30	-	-	9	9	1
	1,639 (45)	1,125 (45)	514 -	130 (45)	-	151	-	-	250	310	-	534	-	-	239	-	25
月人員	138 (5)	126 (5)	12 -	69 (5)	-	31	-	-	-	-	26	-	-	-	12	-	-
	1,572 (92)	1,057 (92)	515 -	423 (92)	-	159	-	-	-	-	475	-	-	-	515	-	-
月人員	202 (5)	195 (5)	7 -	104 (5)	-	52	-	-	3	-	36	-	-	-	7	-	-
	1,792 (74)	1,605 (74)	187 -	489 (74)	-	239	-	-	60	-	817	-	-	-	187	-	-
月人員	113 (10)	96 (10)	17 -	42 (10)	-	34	-	-	-	-	20	-	-	-	17	-	-
	1,288 (286)	839 (286)	449 -	231 (286)	-	169	-	-	-	-	439	-	-	-	449	-	-
月人員	144 (1)	134 (1)	10 -	45 (1)	-	58	-	-	-	-	31	-	-	-	10	-	-
	1,204 (10)	899 (10)	305 -	176 (10)	-	246	-	-	-	-	477	-	-	-	305	-	-
月人員	99 -	88 -	11 -	21 -	-	34	-	-	-	-	32	-	-	-	10	1	1
	1,215 -	907 -	308 -	75 -	-	299	-	-	-	-	526	-	-	-	294	7	14
月人員	150 (2)	138 (2)	12 -	44 (2)	-	20	-	-	1	-	31	-	-	-	3	11	40
	2,672 -	2,190 -	482 -	182	-	138	-	-	109	-	686	-	245	373	939	-	-
月人員	130 -	118 -	12 -	45 -	-	46	-	-	1	-	22	-	-	-	10	5	1
	2,138 -	1,449 -	689 -	227 -	-	321	-	-	180	-	447	-	-	-	494	454	15
月人員	88 -	75 -	13 -	6 -	-	26	-	-	6	-	24	-	-	-	13	13	-
	1,321 -	855 -	466 -	61	-	159	-	-	-	61	-	503	-	-	-	466	71

(注) ()内は、消防団関係の使用状況で内数です。

消防車両等の経過年数

(平成24年4月1日現在)

区分		合計	1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	4年以上	5年以上	6年以上	7年以上	8年以上	9年以上	10年以上	11年以上	12年以上	13年以上	14年以上	15年以上
合計		198	11	14	24	17	17	23	12	18	10	3	5	6	4	6	11	17
ポンプ搭載車（艇）	普通ポンプ車	40	1	4	6	2	3	3	1	1	2	1	3	4	2	2	3	2
	水槽付ポンプ車	10	-	3	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
	化 学 車	6	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
	大型化 学 車	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	泡原液搬送車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	大型高所放水車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	大型ポンプ車	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	消 防 艇	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
その他	はしご車	8	2	-	-	1	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-	1
	救助工作車	9	-	1	2	-	-	-	2	1	1	1	-	-	-	-	-	1
	高発泡車	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	救急車	35	5	3	4	3	4	5	3	4	4	-	-	-	-	-	-	-
	ヘリコプター	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
	乗用車	2	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	指令車	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広報車	18	1	-	-	1	1	4	-	3	-	-	-	-	1	1	4	2
	輸送車（警防バス）	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	輸送車（その他バス）	4	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	査察車	19	-	-	4	4	2	2	2	2	-	-	1	-	-	1	1	-
	指揮車	9	-	-	1	3	2	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	警備連絡車	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	電源車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	震災工作車	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	支援車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	防災資器材運搬車	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ホース延長車	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コンテナ車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
	防災指導車	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	特殊災害対応自動車	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	特別高度工作車	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大型除染システム搭載車	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小型ポンプ積載車	8	-	-	-	-	2	-	2	2	-	1	1	-	-	-	-	-

(注) 車両台数には、非常用車両等を含みます。

警 防



震災工作車「双腕作業機」

業務概要

警防課

1 災害出場件数

災害等の出場件数（救急出場及び事後聞知を除きます。）は、3,125件で、前年に比べ407件増加しています。出場種別の内訳は、火災出場453件（14.5%）、救助出場500件（16%）、管外応援出場64件（2%）、虚報及び誤認通報出場257件（8.2%）、その他出場2,108件（67.5%）で、その他出場のうち、PA連携出場は959件（全体の45.5%）となっています。

2 耐震性貯水槽の整備

震災時、断水時等に、消火栓に代わる水利を確保するため、平成24年4月1日現在、市内には527基の防火水槽が整備されており、そのうち耐震性貯水槽については、40m³以上60m³未満の貯水槽82基、60m³以上100m³未満の貯水槽121基、100m³以上の貯水槽43基の合計246基となっています。

3 救助隊の活動状況

救助隊が出場した件数は1092件で、前年に比べ180件増加し、被救助人員は395人で、前年に比べ100人増加しました。

救助隊の出場のうち火災出場が202件で、前年より11件増加し、被救助人員は16人で前年と同数でした。火災以外の出場は890件で、前年より169件増加し、被救助人員は379人で、前年より100人増加しました。

火災以外の事故の内訳は、その他の事故が最も多く385件（43.3%）、次いで建物等による事故が294件（33%）、交通事故110件（12.4%）、水難事故30件（3.4%）、機械事故11件（1.2%）、ガス酸欠事故31件（3.5%）、自然災害28件（3.1%）、破裂事故1件（0.1%）となっています。

救急課

1 救急救命士養成

（財）救急振興財団救急救命東京研修所で4人、横浜市救急救命士養成所で1人を養成し、川崎市の救急救命士資格取得者は女性14人を含む203人になりました。

また、気管挿管認定救急救命士8人、薬剤投与認定救急救命士12人を養成し、救急救命士資格取得者のうち気管挿管認定救急救命士59人、薬剤投与認定救急救命士114人になりました。

2 市民救命士養成

市民救命士養成のため、普通救命講習、上級救命講習、心肺蘇生法講習及び普及員講習を実施し、13,141人を養成し、平成6年から延べ290,952人になりました。

3 患者等搬送事業者

4事業者を新たに認定し、計15業者になりました。

指令課

1 119番受信状況

平成23年中の119番受信件数は、85,102件で、前年と比較して2,019件（2.4%）増加しました。この受信件数には携帯電話によるもの30,983件（36.4%）含まれております。

なお、1日あたりの119番受信件数は、平均233.2件（6分17秒に1件）となっています。

2 災害弱者等の119番通報設備

119番通報にあたり、音声（会話）による通報が困難な場合でも対応できる設備として、災害情報伝達装置（44台）、FAX119番送受信装置（1台）、WEB119緊急通報受信装置（2台）を整備しています。WEB119緊急通報受信装置は、GPS機能付きでインターネット接続サービスを契約している携帯電話を利用して、音声を使わず消防車や救急車を要請することができます。

航空隊

1 航空関係業務

（1）災害出場件数は52件で、内訳は火災27件、救助9件、警戒（その他偵察等含む）10件、応援5件で、前年と比較して5件の減少となりました。

そのうち3月に発生した東日本大震災の災害活動のため、緊急消防援助隊として福島県の被災地に派遣され、被害状況調査等の情報収集活動、救急搬送を行いました。

また、財団法人日本臓器移植ネットワークの依頼により、北里大学病院から東京大学病院、市立多摩病院から東京国際空港までの臓器搬送2件を行いました。

神奈川県下航空機特別応援では、伊勢原市で発生した山岳救助事案に2件出場し、2人を救助しました。

（2）各署の消防出初式をはじめ、春・秋の火災予防運動及び水防訓練等に参加しました。

また市外において、緊急消防援助隊関東ブロック訓練、東京消防庁震災対応訓練、厚木市との合同山岳救助訓練、愛川町、伊勢原市と合同航空救助訓練を実施しました。

（3）夜間における航空機の運航や天候急変に対し、適切な処置判断による安全な飛行を確保するため、操縦士1名が計器飛行証明の資格を取得しました。その他各種操縦訓練に取り組み、特に夜間大規模災害に備えた訓練として、総務省屋上ヘリポートでの夜間離着陸訓練及び専任航空救助員の技術維持・向上を目的とした救助訓練を実施しました。

（4）年間を通して教育委員会依頼の写真撮影、その他各局依頼の視察・撮影等、多方面にわたる行政飛行を実施しました。

2 整備関係業務

（1）ヘリコプターの安全運航に万全を期すため、日常検査、中間検査、暦日検査及び定期検査（50、100、150時間毎）等の整備を実施しました。

（2）航空局発行の耐空性改善通報（TCD）及び製造業者発行の技術通報（SB）による検査、修理並びに交換等の特別整備を実施しました。

月別災害出場状況

(平成23年中)

区分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出場合計	件数	3,125	282	233	369	243	213	231	267	213	251	222	265	336	
	台数	9,448	893	784	1,127	745	567	707	771	582	847	706	729	990	
	人員	42,329	4,118	3,601	5,173	3,406	2,510	3,082	3,352	2,404	3,778	3,185	3,253	4,467	
火災出場小計	件数	453 (150)	55 (18)	44 (9)	54 (16)	40 (17)	20 (9)	30 (10)	30 (13)	16 (3)	34 (13)	45 (14)	40 (16)	45 (12)	
	台数	4,176 (376)	472 (37)	403 (22)	498 (28)	348 (52)	200 (17)	273 (12)	317 (41)	129 (5)	411 (57)	361 (28)	347 (42)	417 (35)	
	人員	20,153 (1,711)	2,285 (167)	2,000 (100)	2,433 (126)	1,722 (229)	967 (71)	1,286 (49)	1,461 (167)	633 (21)	1,969 (21)	1,732 (307)	1,636 (120)	2,029 (190)	
出 場	第1出場	件数	433 (139)	52 (18)	42 (9)	53 (16)	36 (14)	20 (9)	30 (10)	28 (11)	16 (3)	30 (11)	44 (14)	39 (15)	43 (10)
	第1出場	台数	4,118 (351)	463 (37)	397 (22)	495 (28)	338 (47)	200 (17)	273 (12)	311 (35)	129 (5)	399 (49)	358 (28)	344 (39)	411 (32)
	第1出場	人員	19,926 (1,611)	2,248 (167)	1,976 (100)	2,420 (126)	1,682 (209)	967 (71)	1,286 (49)	1,437 (143)	633 (21)	1,921 (21)	1,720 (275)	1,624 (120)	2,005 (178)
	第2出場	件数	19 (10)	3 (-)	2 (-)	1 (-)	4 (3)	- (-)	- (-)	2 (2)	- (-)	3 (2)	1 (-)	1 (1)	2 (2)
	第2出場	台数	55 (23)	9 (-)	6 (-)	3 (-)	10 (5)	- (-)	- (-)	6 (6)	- (-)	9 (6)	3 (-)	3 (3)	6 (3)
	第2出場	人員	222 (92)	37 (-)	24 (-)	13 (-)	40 (20)	- (-)	- (-)	24 (24)	- (-)	36 (24)	12 (-)	12 (12)	24 (12)
	第3出場	件数	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	1 (1)	- (-)	- (-)	- (-)
	第3出場	台数	3 (2)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	3 (2)	- (-)	- (-)	- (-)
	第3出場	人員	12 (8)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	12 (8)	- (-)	- (-)	- (-)
	特1出場	件数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特1出場	台数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特1出場	人員	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特2出場	件数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特2出場	台数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特2出場	人員	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特3出場	件数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特3出場	台数	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
	特3出場	人員	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
分区別	特命出場	件数	247 (74)	32 (10)	23 (4)	19 (9)	23 (11)	12 (2)	18 (4)	21 (5)	16 (1)	13 (8)	20 (9)	21 (8)	29 (4)
	特命出場	台数	1,370 (141)	164 (18)	115 (8)	129 (12)	127 (16)	58 (4)	98 (5)	127 (13)	55 (2)	167 (27)	95 (11)	111 (18)	124 (7)
	特命出場	人員	7,522 (712)	884 (88)	660 (36)	799 (60)	729 (75)	330 (17)	499 (18)	620 (45)	279 (9)	920 (181)	501 (46)	590 (90)	706 (47)
管外応援出場	件数	64	8	3	8	6	5	4	4	6	4	8	6	2	
管外応援出場	台数	219	34	9	40	18	19	25	4	30	12	8	15	5	
管外応援出場	人員	973	181	39	182	89	78	100	16	126	50	32	58	22	
その他出場	件数	2,108	189	148	232	169	157	156	179	159	173	129	181	233	
その他出場	台数	3,259	292	246	391	272	236	241	265	261	273	198	248	336	
その他出場	人員	13,652	1,229	1,016	1,667	1,137	980	997	1,099	1,063	1,144	837	1,052	1,431	
救助出場	件数	500	30	38	75	28	31	41	54	32	40	40	35	56	
救助出場	台数	1,794	95	126	198	107	112	168	185	162	151	139	119	232	
救助出場	人員	7,551	423	546	891	458	485	699	776	582	615	584	507	985	
誤報出場	件数	227	15	19	39	15	8	19	16	10	21	21	18	26	
誤報出場	台数	1,120	89	103	204	70	55	64	79	38	92	128	78	120	
誤報出場	人員	5,131	427	496	925	323	253	304	348	171	382	611	352	539	
虚報出場	件数	30	3	-	-	3	2	-	2	1	2	5	4	8	
虚報出場	台数	145	14	-	-	13	2	-	3	4	11	26	6	66	
虚報出場	人員	660	67	-	-	58	8	-	13	16	48	119	26	305	

(注) 1 ()内は、防ぎよ活動従事数で内数です。

2 管外応援出場の件数は、航空隊へり出場及び救急支援出場を含みます。

3 特命出場にあっては、火災出場小計の内数で、誤報出場、虚報出場にあっては出場合計の内数です。

署 別 災 害 出 場 状 況

(平成23年中)

区分		合計	火災出場	管外応援出場	その他出場	救助出場	誤報	虚報
合計	件数	3,125	453 150	64	2,108	500	227	30
	台数	9,448	4,176 376	219	3,259	1,794	1,120	145
	人員	42,329	20,153 1,711	973	13,652	7,551	5,131	660
臨港消防署	件数	433	66 (26)	8	292	67	47	6
	台数	1,661	649 (67)	44	654	314	249	40
	人員	6,954	2,887 (251)	180	2,634	1,253	1,092	172
川崎消防署	件数	386	76 (18)	8	242	60	17	10
	台数	1,293	701 (40)	24	336	232	111	55
	人員	5,988	3,302 (170)	100	1,579	1,007	500	256
幸消防署	件数	337	47 (16)	7	223	60	27	4
	台数	1,009	410 (44)	15	351	233	135	6
	人員	4,664	2,176 (188)	126	1,434	928	707	25
中原消防署	件数	418	51 (17)	6	269	92	18	1
	台数	1,136	475 (53)	14	373	274	84	2
	人員	5,460	2,484 (287)	58	1,680	1,238	451	9
高津消防署	件数	459	58 (17)	13	326	62	34	2
	台数	1,145	492 (36)	34	437	182	142	13
	人員	5,156	2,382 (151)	144	1,830	800	649	59
宮前消防署	件数	380	58 (20)	10	255	57	41	4
	台数	1,191	605 (49)	10	372	204	214	5
	人員	5,304	2,859 (192)	40	1,550	855	913	21
多摩消防署	件数	430	50 (24)	10	304	66	10	1
	台数	1,142	409 (58)	72	418	243	33	11
	人員	5,027	2,003 (320)	300	1,712	1,012	134	55
麻生消防署	件数	282	47 (12)	2	197	36	33	2
	台数	871	435 (29)	6	318	112	152	13
	人員	3,776	2,060 (152)	25	1,233	458	685	63

(注) 1 ()内は、防ぎよ活動従事数で内数です。なお、誤報、虚報にあっても合計の内数です。

2 管外応援出場の件数は、航空隊ヘリ出場及び救急支援出場を含みます。

救助隊の活動状況

(平成23年中)

区分			合計	臨港消防署	川崎消防署	幸消防署	中原消防署	高津消防署	宮前消防署	多摩消防署	麻生消防署
火災	出 場 件 数		202	31	22	19	22	30	29	35	14
	活 動 件 数		24	3	8	1	1	4	6	1	-
	救 助 人 員		16	1	6	1	1	-	6	1	-
火災	合 計	出場件数	890	155	99	99	134	113	103	117	70
		活動件数	356	43	39	49	61	45	44	50	25
		救助人員	379	54	40	52	62	47	46	50	28
火災	交 通 事 故	出場件数	110	29	9	9	10	9	16	20	8
		活動件数	40	9	3	4	4	3	8	6	3
		救助人員	45	11	3	4	4	3	11	6	3
火災	水 難 事 故	出場件数	30	7	6	5	3	1	1	7	-
		活動件数	21	6	4	3	2	-	1	5	-
		救助人員	17	3	2	3	3	-	1	5	-
火災	風 水 然 害 災 等 等	出場件数	28	1	5	4	5	5	2	5	1
		活動件数	18	-	3	2	3	5	2	3	-
		救助人員	24	-	4	3	4	7	3	3	-
以	機械による事故	出場件数	11	2	2	1	2	2	1	-	1
		活動件数	6	1	1	1	-	1	1	-	1
		救助人員	19	13	1	2	-	1	1	-	1
外	建物等による事故	出場件数	294	33	36	41	57	34	31	37	25
		活動件数	202	19	23	31	41	25	21	25	17
		救助人員	214	21	25	34	41	26	21	26	20
外	ガス及び酸欠事故	出場件数	31	8	1	3	7	4	1	5	2
		活動件数	9	1	-	2	1	1	1	3	-
		救助人員	8	1	-	2	1	1	1	2	-
外	破 裂 事 故	出場件数	1	-	-	-	-	-	-	1	-
		活動件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		救助人員	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外	その他の事故	出場件数	385	75	40	36	50	58	51	42	33
		活動件数	60	7	5	6	10	10	10	8	4
		救助人員	52	5	5	4	9	9	8	8	4

(注) 火災時の活動件数は、検索活動のみを実施した件数は含みません。

消防車両等

区分		合計	消防局	臨港消防署						川崎消防署				幸消防署						
				小	本	浮	千	殿	藤	小	本	小	大	島	島	小	本	南	河	原
				計	計	署	所	張	所	計	署	所	田	出	張	所	河	原	出	張
	合計	196	15	31	17	4	4	4	2	21	13	6	2	22	14	2	3	3		
消防車・救急車・艇・航空機	小計	121	4	21	12	3	2	2	2	12	7	3	2	14	8	2	2	2		
	普通ポンプ車	32	-	3	1	-	-	1	1	2	1	1	-	4	1	1	1	1		
	水槽付ポンプ車	9	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-		
	化学生車	6	-	2	-	1	1	-	-	2	-	1	1	1	1	1	-	-	-	
	大型化学生車	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	泡原液搬送車	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大型高所放水車	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	はしご車	8	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
	救助工作車	8	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
	高発泡車	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
	電源車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
	救急車	26	-	3	1	-	-	1	1	3	1	1	1	4	1	1	1	1	1	
	指揮車	9	1	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
	支援車	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	震災工作車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大型ポンプ車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ホース延長車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	防災資器材運搬車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	コントナ車	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	特殊災害対応自動車	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	特別高度工作車	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大型除染システム搭載車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	査察車(緊急車)	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防艇	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ヘリコプター	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
非常用車両等	小計	23	1	6	1	1	2	2	-	3	2	1	-	3	2	-	1	-	-	
	普通ポンプ車	8	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
	水槽付ポンプ車	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	大型化学生車	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	泡原液搬送車	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大型高所放水車	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	救助工作車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
	救急車	8	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
その他	消防艇	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ヘリコプター	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小計	52	10	4	4	-	-	-	-	6	4	2	-	5	4	-	-	1	-	
	乗用車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	指令車	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	広報車	17	4	2	2	-	-	-	-	1	1	-	-	2	2	-	-	-	-	
	査察車	15	3	1	1	-	-	-	-	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	
	警備連絡車	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	防災指導車	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
	小型動力ポンプ積載車	8	-	1	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	1	-	-	-	-	
	輸送車(警防バス)	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	輸送車(その他バス)	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	

の配置状況

(平成24年4月1日現在)

救 助 用 資 機 材 の 配 置 状 況 (1)

(平成24年4月1日現在)

区 分		合 計	消 防 局	臨 港 消 防 署	川 崎 消 防 署	幸 消 防 署	中 原 消 防 署	高 津 消 防 署	官 前 消 防 署	多 摩 消 防 署	麻 生 消 防 署
高度救助用器具	夜間暗視装置	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	熱画像直視装置	6	-	1	1	-	-	1	1	1	1
	地中音響探知機	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	画像探査装置	3	-	1	-	-	1	-	1	-	-
	電磁波探査装置	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	二酸化炭素探査装置	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	地震警報器	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-
	水中探査装置	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
検器 索用具	簡易画像探索機（ポーカメ）	7	-	1	1	1	1	1	1	-	1
一般救助用器具	かぎ付はしご	19	5	1	1	1	2	2	3	2	2
	三連はしご（鋼製）	8	6	-	-	-	-	-	-	1	1
	三連はしご（チタン製）	10	1	1	1	1	2	1	1	1	1
	ワイヤーはしご	11	-	1	2	1	1	1	2	1	2
	滑車	85	7	10	17	9	10	9	7	11	5
	航空救助用縛帶	43	-	8	10	6	3	5	3	4	4
	サバイバースリング	17	-	2	3	1	2	1	4	2	2
	救命索発射銃	9	-	2	1	1	1	1	1	1	1
	空気式救助マット	9	-	2	1	1	1	1	1	1	1
	平担架	18	7	1	1	1	1	2	2	2	1
重量物排除用器具	バスケット担架	16	4	1	1	1	1	2	2	2	2
	大型油圧スプレッダー	10	-	2	1	1	1	1	2	1	1
	小型油圧救助器具（ユニツール）	7	-	1	1	1	1	1	1	-	1
	可搬ワインチ	19	2	3	1	2	4	1	2	2	2
	チェーンブロック	19	-	1	1	1	2	1	2	-	11
	マンホール救助器具	8	-	1	1	1	1	1	1	1	1
	マット型空気ジャッキ一式	13	-	2	2	1	3	1	2	1	1
	マット型空気ジャッキ一式（小型）	6	-	1	-	1	1	1	1	-	1
切断用器具	救助用支柱器具	9	-	1	1	1	2	1	1	1	1
	大型油圧切断機	9	-	2	1	1	1	1	1	1	1
	エンジンカッター	29	-	4	4	4	4	3	3	4	3
	チェーンソー	17	1	4	1	1	2	2	3	2	1
	鉄線カッター	11	1	2	1	1	1	1	1	2	1
	空気切断機	7	-	1	1	1	1	1	1	-	1
	空気鋸	14	-	1	2	1	2	1	2	2	3
	コンクリート切断用チェーンソー	7	-	-	1	1	1	1	2	-	1
	ガス溶断器	8	-	1	1	1	1	1	1	1	1
破壊用器具	削岩機	12	-	1	1	1	4	1	1	1	2
	携帯用コンクリート破壊器具	12	-	2	1	1	2	1	3	1	1
	ハンマー	9	-	1	1	1	2	1	1	1	1
	万能斧	46	-	5	7	5	8	5	6	5	5
	ハンマドリル	13	-	1	2	1	2	1	2	1	3
	充電式破壊器具	12	-	3	1	2	1	1	2	1	1

救 助 用 資 機 材 の 配 置 状 況 (2)

(平成24年4月1日現在)

区分		合計	消防局	臨港消防署	川崎消防署	幸消防署	中原消防署	高津消防署	宮前消防署	多摩消防署	麻生消防署
検知器・測定用具	生物剤検知器	7	-	2	-	1	1	1	1	-	1
	有毒ガス測定器（4成分）	16	-	3	3	2	1	2	2	2	1
	放射線測定器（中性子線測定器含む）	73	2	14	7	6	7	7	14	6	10
	個人用線量計	320	14	69	19	18	18	17	78	24	63
呼吸器吸保護用具	空気呼吸器（警防用資機材分を除く）	43	-	8	5	5	5	5	5	5	5
	酸素呼吸器	81	4	5	12	10	10	5	19	11	5
	簡易呼吸器	13	-	2	2	2	-	2	2	2	1
	送排風機	9	-	1	1	1	1	1	2	1	1
	エアーラインマスク	6	-	-	-	2	1	1	1	-	1
隊員保護用器具	防毒マスク	151	-	20	31	27	10	15	14	21	13
	安全帶	118	1	10	18	15	12	8	26	12	16
	携帯警報器	40	-	5	5	5	5	5	5	5	5
	耐電衣	34	-	4	7	2	4	3	5	5	4
	防毒衣	100	-	22	31	27	4	5	8	3	-
	陽圧式化学防護服	89	-	11	17	12	5	5	28	6	5
	放射能防護消火服	25	-	5	-	2	4	2	6	2	4
	放射線防護衣	48	-	5	7	5	5	5	11	5	5
	耐熱服	29	-	9	2	2	2	2	6	2	4
除器染用具	除染シャワー	10	-	2	1	1	1	1	1	1	2
	除染剤散布器	19	-	2	4	2	4	2	2	-	3
その他の救助用器具	投光器一式	9	-	2	1	1	1	1	1	1	1
	携帯投光器	26	-	7	5	2	2	2	2	3	3
	携帯拡声器	25	-	3	4	5	2	2	3	4	2
	ロープ登降機	7	-	-	2	-	2	-	1	-	2
	応急処置セット	10	-	1	1	1	1	1	1	2	2
	車両移動器具	18	-	2	2	4	1	2	2	1	4
	その他の携帯救助工具	7	-	-	1	1	1	1	1	1	1
	発電機（1200W以上）	11	-	4	1	1	1	1	1	1	1
	発電機（1200W未満）	9	-	1	1	1	2	1	1	1	1
水難救助用器具	潜水器具一式	65	-	20	5	19	1	20	-	-	-
	水難用空気ボンベ	116	-	38	5	29	5	39	-	-	-
	流水救助器具一式	3	-	1	1	-	-	-	-	1	-
	救命胴衣	429	-	60	86	69	40	39	48	76	11
	水中投光器	64	-	14	5	20	5	19	-	-	1
	救命浮環	78	-	10	11	18	4	18	2	5	10
	浮標	9	-	3	1	2	1	2	-	-	-
	アルミ製折畳みボート	6	-	1	-	1	1	-	1	1	1
	救助用ゴムボート	11	-	1	2	1	1	3	1	1	1
	船外機	15	-	1	2	3	2	2	2	1	2
	水中スクーター	8	-	4	-	2	-	2	-	-	-
	水中無線機	8	-	4	-	1	1	2	-	-	-

警防用資機材の配置状況

(平成24年4月1日現在)

区分		合計	消防局	臨港消防署	川崎消防署	幸消防署	中原消防署	高津消防署	宮前消防署	多摩消防署	麻生消防署
測定器	ガス検知器(4成分) (酸素・可燃性ガス・硫化水素・酸化炭素)	30	-	5	4	3	2	2	7	4	3
	ガス検知器(2成分) (酸素・可燃性ガス)	18	-	4	1	2	3	4	1	1	2
照明器具	携帯形探照灯	13	-	2	2	-	1	2	2	1	3
	携帯用投光器 (救助用資機材分含む)	201	3	35	21	21	19	16	28	28	30
呼吸器	空気呼吸器	263	-	45	24	37	29	24	43	35	26
	空気呼吸器用ボンベ (救助用資機材分含む)	1,119	-	185	137	108	137	139	189	111	113
	酸素呼吸器用ボンベ (救助用資機材分含む)	130	4	37	14	12	12	10	19	7	15
放水器具	定圧金具	52	-	13	4	4	6	6	9	5	5
	エアフォームノズル	70	-	32	6	8	5	5	5	6	3
	フォグガン	46	-	8	6	4	5	6	8	4	5
	ターレット	21	-	10	1	3	2	2	1	1	1
	無反動管そう	45	-	8	6	5	2	6	12	4	2
	インパルス消火システム	8	-	1	1	1	1	1	1	1	1
	泡放射砲	5	-	1	1	1	1	1	-	-	-
その他	ろ水機・組立式水槽	8	-	1	1	1	1	1	1	1	1
	流出油処理器	7	-	1	1	1	1	-	1	1	1
	オイルフェンス(m)	1,980	-	1,980	-	-	-	-	-	-	-
	防火衣	742	12	117	83	83	89	95	106	75	82

ホースの配置状況

(平成24年4月1日現在) (単位 本)

区分			合計	局	臨港	川崎	幸	中原	高津	宮前	多摩	麻生
合計			3,070	-	507	425	350	379	264	374	436	335
口径	50mm	長さ	20m	614	-	85	71	66	62	85	77	79
	65mm		30m	2	-	-	-	-	-	2	-	-
	75mm		20m	2,178	-	277	338	259	229	175	297	357
	150mm		各種	192	-	145	16	25	4	2	-	-

街頭用消火器配置状況

(平成24年4月1日現在)

区分	合計	臨港消防署管内	川崎消防署管内	幸消防署管内	中原消防署管内	高津消防署管内	宮前消防署管内	多摩消防署管内	麻生消防署管内
強化液6型	1,579	263	451	319	343	134	-	69	-

消火薬剤及び中和剤等備蓄状況

(平成24年4月1日現在)

区分	泡消火薬剤 (ℓ) (全て3%)						流出油処理剤		
	合計	水性膜		フッ化たん白	合成界面活性剤	耐アルコール系	液状 (ℓ)	粉末 (kg)	吸着マット (枚)
		市備蓄	県からの委託備蓄						
合計	170,075	32,325	30,000	90,100	7,710	9,940	15,827	983	9,441
消防局	42,200	-	30,000	-	3,060	9,140	11,295	-	3,000
臨港消防署	91,920	20,880	-	66,700	4,140	200	3,360	220	2,300
川崎消防署	31,255	9,175	-	21,600	280	200	180	100	450
幸消防署	1,540	300	-	1,200	40	-	150	168	820
中原消防署	410	320	-	-	90	-	150	65	770
高津消防署	1,400	700	-	600	-	100	135	85	670
宮前消防署	550	450	-	-	40	60	260	140	435
多摩消防署	400	300	-	-	-	100	162	100	646
麻生消防署	400	200	-	-	60	140	135	105	350

緊急用化学消火薬剤等協定締結状況

(平成24年4月1日現在)

協定年月日	協定業者名	品名	数量 (ℓ)
昭和39年7月17日	深田工業株式会社	たん白系	15,000
		水溶性液体系	10,000
		水性膜系	5,000
		界面活性系	3,000

消防相互応援協定

平成24年4月1日現在

協定先の市町村等	応援種別	締結年月日
【神奈川県下消防相互応援協定】 横浜市・横須賀市・小田原市・鎌倉市・藤沢市・平塚市・逗子市・茅ヶ崎市・三浦市・相模原市・座間市・厚木市・大和市・秦野市・伊勢原市・海老名市・綾瀬市・大磯町・湯河原町・葉山町・箱根町・足柄（組）・二宮町・寒川町・愛川町	火災・救急及び その他の災害	平成18年8月18日締結 (昭和50年7月25日制定)
【東名高速道路消防相互応援協定書】 横浜市・厚木市・大和市・海老名市・伊勢原市・秦野市・綾瀬市・足柄（組）	火災・救急及び その他の災害	平成22年1月22日締結 (昭和56年4月25日制定)
【扇島に関する消防業務協約】 横浜市	火災・救急及び その他の災害	平成15年7月17日締結 (平成2年12月20日制定)
【東京消防庁・川崎市消防相互応援協定】 東京消防庁	火災・救急及び その他の災害	平成22年2月1日締結 (昭和43年8月2日制定)
【川崎市・稲城市消防相互応援協定】 東京都稲城市	火災・救急及び その他の災害	平成18年6月13日締結 (昭和60年6月21日制定)
【航空機消防相互応援協定】 東京消防庁・横浜市・千葉市	水災害・地震等の大規模特殊災害	平成18年12月12日締結 (平成7年3月29日制定)
【東京湾消防相互応援協定】 東京都・千葉市・横浜市・市川市	港域内及び沿岸施設の大規模な火災・流出事故 ・その他の災害	平成18年12月12日締結 (平成2年5月29日制定)
【横浜海上保安部と 川崎市消防局との業務協定】 横浜海上保安部	船舶火災・その他の災害	昭和46年3月1日制締結・制定
【東京湾アクアライン 消防相互応援協定書】 木更津市	火災・救急及び その他の災害	平成18年6月23日締結 (平成9年12月1日制定)
【鉄道災害における鉄道事業者と 消防機関との連携に関する協定書】 県内15鉄道事業者及び26消防機関	鉄道災害等及び 鉄道沿線火災	平成16年3月29日締結・制定
【東京電力株式会社東西連係ガス導管 消防相互応援協定書】 富津市	火災・救急及び その他の災害	平成22年1月20日締結・制定
【川崎市・町田市消防団相互応援協定書】 町田市	火災・救急及び その他の災害	平成18年6月30日締結 (平成11年8月31日制定)

隣接都市への火災応援状況

(平成23年中)

区分	合計			臨港消防署			川崎消防署			幸消防署			中原消防署			高津消防署			宮前消防署			多摩消防署			麻生消防署			
	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	
	数	員	數	員	數	員	数	員	數	員	數	員	数	員	數	員	数	員	數	員	數	員	数	員	数	員	數	員
合計	58	80	334	11	18	72	3	6	29	10	10	40	11	12	51	11	16	68	1	1	4	8	14	58	3	3	12	
東京都	多摩市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	稻城市	3	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	12	
	町田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	狛江市	8	14	58	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	14	58	-	-	-	
	世田谷区	7	10	43	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	10	6	8	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
横浜市	大田区	25	34	141	11	18	72	2	4	20	5	5	20	7	7	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	港北区	6	6	24	-	-	-	-	-	-	-	-	3	3	12	3	3	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	緑区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	鶴見区	6	7	29	-	-	-	1	2	9	5	5	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	青葉区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
調布市	都筑区	3	6	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	23	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-
	木更津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

隣接都市からの火災応援状況

(平成23年中)

区分	合計			臨港消防署			川崎消防署			幸消防署			中原消防署			高津消防署			宮前消防署			多摩消防署			麻生消防署			
	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	件	台	人	
	数	員	數	員	數	員	数	員	數	員	數	員	数	員	數	員	数	員	數	員	數	員	数	員	数	員		
合計	39	54	230	4	7	32	7	9	36	5	5	22	5	5	22	4	7	29	4	4	16	5	8	36	5	9	37	
東京都	多摩市	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	
	稲城市	1	3	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	10	
	町田市	1	3	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	14	
	狛江市	5	8	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	36	-	-	-	
	世田谷区	2	4	17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	1	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
横浜市	大田区	12	15	66	4	7	32	3	3	12	2	2	9	3	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	港北区	3	4	16	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	2	3	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	緑区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	鶴見区	7	9	37	-	-	-	4	6	24	3	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	青葉区	4	4	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	8	-	-	-	2	2	9	
調布市	都筑区	3	3	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	2	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-
	木更津市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

ガス事故発生状況

(平成23年中)

区分		合計	都市ガス						液化石油ガス						その他ガス								
			小計	火災	爆発	爆発	中毒・酸欠	ガス漏れ	その他	小計	火災	爆発	爆発	中毒・酸欠	ガス漏れ	その他	小計	火災	爆発	爆発	中毒・酸欠	ガス漏れ	その他
合計		30	10	2	-	-	-	8	-	6	1	2	1	-	2	-	14	2	1	1	-	10	-
原因別	取扱不注意	14	8	2	-	-	-	6	-	3	1	1	1	-	-	-	3	2	-	-	-	1	-
	設備器具不良	8	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	7	-	-	1	-	6	-
	自損行為	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	8	2	-	-	-	-	2	-	2	-	1	-	-	1	-	4	-	1	-	-	3	-
発生場所別	風呂場	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	炊事場	5	3	1	-	-	-	2	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	居室	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調理場	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
	店舗内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事務所内	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	作業所内	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3	-
	その他屋内	2	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-
人身事故件数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
死傷者	合計	7	1	1	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	3	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	7	1	1	-	-	-	-	-	3	1	1	1	-	-	-	3	-	-	-	-	3	-

- (注) 1 「火災、爆発火災」は、ガスが着火物となって生じた火災をいい、爆発火災はそのうち爆発後火災になったものをいいます。
 2 「爆発」は、ガスに着火して爆発した事故で火災に至らなかつたものをいいます。
 3 「中毒・酸欠」は、ガスの不完全燃焼、漏えい等によって、中毒又は酸欠を生じたものをいいます。
 4 「ガス漏れ」は、ガス漏れで1から3までに該当しないものをいいます。
 5 「その他」は、ガスによる事故で1から4までのいずれにも該当しないものをいいます。

中高層建築物の状況

(平成23年中)

区分		合計	臨港消防署	川崎消防署	幸消防署	中原消防署	高津消防署	宮前消防署	多摩消防署	麻生消防署
合計		24,538	2,331	4,302	2,203	4,559	3,592	2,701	3,395	1,455
階 数 別	3階	13,214	1,426	2,621	1,255	2,424	1,815	1,062	1,938	673
	4階	4,682	445	609	411	971	712	568	684	282
	5階	3,524	194	376	225	605	575	763	501	285
	6階	1,109	111	179	93	225	155	160	121	65
	7階	902	84	159	70	157	183	99	96	54
	8階	324	24	88	21	71	45	24	16	35
	9階	178	14	69	20	23	28	9	6	9
	10階	202	14	66	22	25	32	10	9	24
	11階	123	4	52	16	22	14	1	7	7
	12階	60	3	22	10	8	8	1	4	4
	13階	50	3	13	13	9	4	2	-	6
	14階	91	7	29	16	7	11	2	8	11
	15階以上	79	2	19	31	12	10	-	5	-
高 さ 別	15m未満	19,719	1,754	3,314	1,760	3,604	2,888	2,274	3,004	1,121
	15m以上 20m未満	2,942	308	468	228	638	475	360	295	170
	20m以上 25m未満	813	90	201	60	193	121	33	46	69
	25m以上 30m未満	453	77	132	49	51	49	23	22	50
	30m以上 35m未満	297	63	95	33	37	29	7	12	21
	35m以上 40m未満	137	19	39	25	17	12	2	6	17
	40m以上 50m未満	116	18	40	19	9	12	2	9	7
	50m以上 100m未満	47	2	13	21	4	6	-	1	-
	100m以上	14	-	-	8	6	-	-	-	-

署 所 別 消 防

区 分		合 計	消火栓(75mm以上)								
			小 計	公 設				私 設			
				計	地上式	地下式 双口	地下式 單口	計	地上式	地下式	
合 計		27,953	25,981	19,858	1	5,413	14,444	6,123	5,702	421	
臨 港 消 防 署	小 計	8,061	7,122	1,644	-	700	944	5,478	5,369	109	
	本 署	2,845	2,197	508	-	222	286	1,689	1,617	72	
	浮 島 出 張 所	2,955	2,824	201	-	134	67	2,623	2,599	24	
	千 烏 出 張 所	1,432	1,335	196	-	91	105	1,139	1,126	13	
	殿 町 出 張 所	352	314	298	-	116	182	16	16	-	
	藤 崎 出 張 所	477	452	441	-	137	304	11	11	-	
川 崎 消 防 署	小 計	1,814	1,689	1,548	1	442	1,105	141	129	12	
	本 署	673	623	614	1	180	433	9	-	9	
	小 田 出 張 所	436	402	399	-	110	289	3	-	3	
	大 島 出 張 所	705	664	535	-	152	383	129	129	-	
幸 消 防 署	小 計	1,883	1,750	1,627	-	459	1,168	123	77	46	
	本 署	607	555	442	-	117	325	113	74	39	
	南 河 原 出 張 所	312	287	285	-	87	198	2	-	2	
	平 間 出 張 所	443	410	403	-	84	319	7	3	4	
	加 瀬 出 張 所	521	498	497	-	171	326	1	-	1	
中 原 消 防 署	小 計	2,805	2,645	2,457	-	564	1,893	188	97	91	
	本 署	1,082	922	878	-	234	644	44	14	30	
	荔 宿 出 張 所	618	618	510	-	109	401	108	58	50	
	井 田 出 張 所	443	443	432	-	75	357	11	1	10	
	小 田 中 出 張 所	662	662	637	-	146	491	25	24	1	
高 津 消 防 署	小 計	2,690	2,536	2,506	-	717	1,789	30	16	14	
	本 署	780	717	708	-	227	481	9	6	3	
	子 母 口 出 張 所	518	495	492	-	132	360	3	-	3	
	新 作 出 張 所	453	436	426	-	139	287	10	6	4	
	梶 ケ 谷 出 張 所	588	560	557	-	123	434	3	-	3	
	久 地 出 張 所	351	328	323	-	96	227	5	4	1	
宮 前 消 防 署	小 計	3,233	3,111	3,054	-	757	2,297	57	9	48	
	本 署	636	613	610	-	137	473	3	-	3	
	野 川 出 張 所	481	464	458	-	120	338	6	-	6	
	宮 崎 出 張 所	613	599	593	-	153	440	6	-	6	
	向 丘 出 張 所	461	441	422	-	88	334	19	-	19	
	犬 藏 出 張 所	547	526	524	-	153	371	2	-	2	
	菅 生 出 張 所	495	468	447	-	106	341	21	9	12	
多 摩 消 防 署	小 計	3,358	3,227	3,181	-	691	2,490	46	4	42	
	本 署	914	783	776	-	180	596	7	-	7	
	宿 河 原 出 張 所	586	586	578	-	115	463	8	4	4	
	菅 出 張 所	946	946	927	-	219	708	19	-	19	
	栗 谷 出 張 所	912	912	900	-	177	723	12	-	12	
麻 生 消 防 署	小 計	4,109	3,901	3,841	-	1,083	2,758	60	1	59	
	本 署	1,015	967	964	-	299	665	3	1	2	
	王 檜 寺 出 張 所	939	879	831	-	233	598	48	-	48	
	百 合 丘 出 張 所	825	796	788	-	175	613	8	-	8	
	柿 生 出 張 所	1,330	1,259	1,258	-	376	882	1	-	1	

水 利 の 状 況

(平成24年4月1現在)

防火水槽							その他の水利						
小計	公 設			私 設			小計	プール	沼	河川	海運河	貯水施設	その他 (構内 排水路)
	計	100m³ 以上	40m³ 以上	計	100m³ 以上	40m³ 以上							
876	527	77	450	349	79	270	1,096	193	11	93	224	169	406
178	46	9	37	132	46	86	761	16	-	8	224	113	400
70	13	2	11	57	14	43	578	8	-	-	160	11	399
50	1	-	1	49	21	28	81	-	-	5	33	43	-
28	6	-	6	22	11	11	69	1	-	-	28	40	-
13	9	2	7	4	-	4	25	3	-	3	3	15	1
17	17	5	12	-	-	-	8	4	-	-	-	4	-
96	64	19	45	32	5	27	29	21	-	3	-	5	-
39	23	9	14	16	2	14	11	7	-	2	-	2	-
25	17	2	15	8	-	8	9	9	-	-	-	-	-
32	24	8	16	8	3	5	9	5	-	1	-	3	-
107	54	5	49	53	11	42	26	20	-	3	-	3	-
44	19	2	17	25	7	18	8	6	-	2	-	-	-
20	9	2	7	11	1	10	5	3	-	1	-	1	-
29	12	-	12	17	3	14	4	4	-	-	-	-	-
14	14	1	13	-	-	-	9	7	-	-	-	2	-
82	48	3	45	34	8	26	78	32	2	12	-	32	-
82	48	3	45	34	8	26	78	32	2	12	-	32	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
86	58	5	53	28	4	24	68	25	-	34	-	9	-
31	12	3	9	19	2	17	32	7	-	18	-	7	-
20	17	1	16	3	-	3	3	3	-	-	-	-	-
11	8	-	8	3	1	2	6	6	-	-	-	-	-
16	14	1	13	2	-	2	12	5	-	7	-	-	-
8	7	-	7	1	1	-	15	4	-	9	-	2	-
89	65	5	60	24	2	22	33	24	-	4	-	-	5
16	14	-	14	2	-	2	7	7	-	-	-	-	-
11	7	-	7	4	1	3	6	2	-	4	-	-	-
10	10	2	8	-	-	-	4	4	-	-	-	-	-
15	13	2	11	2	-	2	5	5	-	-	-	-	-
18	14	1	13	4	-	4	3	3	-	-	-	-	-
19	7	-	7	12	1	11	8	3	-	-	-	-	5
81	64	5	59	17	2	15	50	31	4	11	-	3	1
81	64	5	59	17	2	15	50	31	4	11	-	3	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
157	128	26	102	29	1	28	51	24	5	18	-	4	-
43	40	5	35	3	-	3	5	5	-	-	-	-	-
42	27	11	16	15	1	14	18	7	5	5	-	1	-
25	21	-	21	4	-	4	4	4	-	-	-	-	-
47	40	10	30	7	-	7	24	8	-	13	-	3	-

消防通信施設の状況

(平成24年4月1日現在)

区分			合計	消防局	臨港消防署	川崎消防署	幸中消防署	中原消防署	高津消防署	宮前消防署	多摩消防署	麻生消防署	梶ヶ谷中継所	西生田中継所	川崎市役所	市立川崎病院
有線	指令台(台)		7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	指揮台(台)		1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報知電話		34	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	報知電話予備回線		3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	指令電話(回線)		36	1(1)	5	3	4	4	5	6	4	4	-	-	-	-
	消防電話(回線)		60	9(2)	7	5	6	6	7	8	6	6	-	-	-	-
	加入電話(回線)		76	17(2)	8	6	7	7	8	9	7	7	-	-	-	-
	専用回線		24	17(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	-	-
	電話交換機DX式		9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-
無線	固定局(多重無線)		5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
	基地局(局)	10W	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
			4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	陸上移動局	消防系	131	18(1)	25	13	12	15	12	14	12	10	-	-	-	-
			12	3(1)	2	1	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-
		携帯系	26	12	4	2	1	1	1	2	1	2	-	-	-	-
			84	35(2)	7	5	6	6	7	7	6	5	-	-	-	-
	線	署系	35	-	5	3	4	4	5	6	4	4	-	-	-	-
			136	-	27	14	16	17	15	21	15	11	-	-	-	-
			213	17	32	21	23	22	25	29	23	21	-	-	-	-
		救急系車載型	34	-	4	4	5	4	4	6	4	3	-	-	-	-
	携帯基地局	10W	▲3	▲1	-	-	-	-	-	-	-	-	▲1	▲1	-	-
		5W	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		5W	3	2(2)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1W	2	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	携帯局	航空機型	2	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1W	2	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	航空機局	25W	2	2(2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	航空局	25W	2	2(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		5W	1	1(1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1W	3	3(3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	船舶局	20W	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
災害情報伝達装置			44	9(1)	5	3	4	4	5	6	4	4	-	-	-	-
WEB119緊急通報受信装置			2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
FAX119番送受信装置			1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
気象観測装置			1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 1 ▲印は基地局と二重免許を示します。

2 ()内は、航空隊が保有する施設で内数です。

3 有線欄の報知電話は、119番回線で衛星中継回線2回線を含みます。

消防通信受信処理状況

(平成23年中) (単位 件)

区分		合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計		99,324	8,676	7,242	9,196	7,736	7,727	7,866	8,670	8,639	8,576	8,110	7,808	9,078
報知専用電話（119番受信状況）	小計	85,102 <30,983>	7,505 <2,545>	6,243 <2,154>	7,961 <2,750>	6,659 <2,377>	6,600 <2,401>	6,770 <2,563>	7,389 <2,769>	7,378 <2,757>	7,300 <2,805>	6,914 <2,626>	6,617 <2,423>	7,766 <2,813>
	火災通報	728 <317>	115 <47>	56 <30>	87 <37>	57 <22>	33 <21>	42 <23>	41 <17>	22 <8>	55 <25>	62 <29>	59 <21>	99 <37>
	救急通報	59,356 <19,479>	5,237 <1,593>	4,321 <1,340>	5,180 <1,578>	4,679 <1,551>	4,710 <1,538>	4,749 <1,629>	5,258 <1,756>	5,244 <1,790>	4,868 <1,658>	4,897 <1,670>	4,641 <1,556>	5,572 <1,820>
	その他災害通報	1,480 <728>	106 <51>	101 <49>	196 <113>	94 <53>	88 <35>	89 <34>	120 <54>	103 <48>	223 <103>	96 <53>	134 <64>	130 <71>
	病院問い合わせ	2,769 <1,348>	384 <187>	244 <117>	277 <125>	215 <101>	232 <107>	144 <67>	262 <138>	245 <122>	202 <103>	169 <83>	170 <94>	225 <104>
	その他	20,769 <9,111>	1,663 <667>	1,521 <618>	2,221 <897>	1,614 <650>	1,537 <700>	1,746 <810>	1,708 <804>	1,764 <789>	1,952 <916>	1,690 <791>	1,613 <688>	1,740 <781>
加入電話等（専用回線・転送を含む）処理状況	小計	14,222 (316)	1,171 (32)	999 (29)	1,235 (28)	1,077 (24)	1,127 (23)	1,096 (19)	1,281 (31)	1,261 (36)	1,276 (29)	1,196 (13)	1,191 (23)	1,312 (29)
	火災通報	32 (8)	2 -	3 (2)	1 -	2 -	1 -	1 -	4 -	-	5 -	3 -	6 -	4 (1)
	救急通報	878 (296)	89 (32)	68 (25)	72 (23)	72 (24)	64 (23)	64 (18)	84 (29)	87 (36)	68 (28)	54 (13)	81 (20)	75 (25)
	その他災害通報	128 (12)	7 -	13 (2)	17 (5)	6 -	9 -	17 (1)	8 (1)	1 -	7 -	13 -	10 -	20 (3)
	災害問い合わせ	219 -	18 -	24 -	20 -	14 -	21 -	6 -	15 -	17 -	23 -	19 -	21 -	21 -
	その他	12,965 -	1,055 -	891 -	1,125 -	983 -	1,032 -	1,008 -	1,170 -	1,156 -	1,173 -	1,107 -	1,073 -	1,192 -

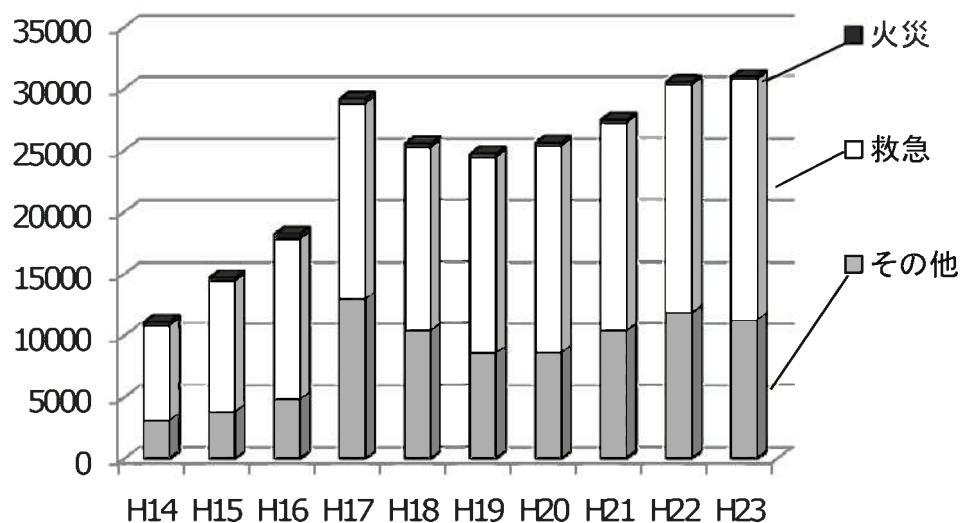
(注) 1 同一事案での複数通報を含みます。

2 <>内は、携帯電話からの受信件数で内数です。

3 ()内は、緊急通報システムからの受信件数で内数です。

携帯電話による 119番通報受信件数の推移

年別 区分	合 計	火 災	救 急	その他
平成14年	11,088	336	7,700	3,052
平成15年	14,689	338	10,596	3,755
平成16年	18,230	480	12,982	4,768
平成17年	29,183	485	15,807	12,891
平成18年	25,544	392	14,787	10,365
平成19年	24,739	395	15,818	8,526
平成20年	25,622	349	16,706	8,567
平成21年	27,478	329	16,803	10,346
平成22年	30,531	316	18,427	11,788
平成23年	30,983	317	19,479	11,187



指 令 件 数

(平成23年中) (単位 件)

区 分	合 計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合 計	66,144	5,855	4,781	5,886	5,212	5,134	5,276	5,870	5,737	5,430	5,408	5,235	6,320
建 物 火 灾	488	62	47	50	42	23	26	41	15	58	42	35	47
石油コンビナート火災	12	-	2	3	-	2	3	-	-	-	-	-	2
トンネル火災	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
危険物等輸送車両火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特 殊 火 灾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
車 両 火 灾	103	13	6	17	-	3	6	5	3	15	14	13	8
その他の火災	264	52	25	29	33	9	14	11	10	7	27	22	25
救 助	1,060	66	81	136	71	70	80	105	80	89	85	83	114
警 戒	579	40	40	82	51	44	50	42	35	55	47	37	56
偵 察	784	87	52	75	62	44	56	65	67	71	41	81	83
調 査	288	28	24	20	13	19	30	28	23	25	18	28	32
その他の災害	63	2	8	13	2	1	-	7	12	13	1	4	-
管 外 応 援	65	10	7	4	3	5	1	5	4	3	11	5	7
特 命	1,051	99	70	103	84	63	86	101	80	89	91	87	98
救 急	61,386	5,396	4,419	5,354	4,851	4,851	4,924	5,460	5,408	5,004	5,031	4,840	5,848

(注) 同一事案での複数指令を含みます。

気象報等の発表状況

(平成23年中) (単位 回)

区分	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	830	70	55	81	107	75	64	52	101	110	53	32	30
火災警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
警報	大雨警報	23	-	-	-	1	4	2	2	7	7	-	-
	洪水警報	8	-	-	-	-	-	2	1	3	2	-	-
	暴風警報	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	波浪警報	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
	大雪警報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
注意報	大雨注意報	83	-	1	-	2	13	7	7	22	20	9	2
	洪水注意報	43	-	1	-	1	4	6	5	10	12	3	1
	強風注意報	236	13	24	28	37	23	16	13	9	23	22	15
	波浪注意報	57	1	3	5	15	7	1	6	1	11	2	5
	暴風注意報	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雷注意報	163	-	1	5	11	15	21	17	47	27	12	6
	乾燥注意報	128	38	13	28	30	-	-	-	-	-	1	2
	濃霧注意報	31	-	3	2	-	9	9	1	2	-	4	1
	霜注意報	12	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-
	大雪注意報	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	風雪注意報	4	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	着雪注意報	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高潮注意報	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
	低温注意報	28	18	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-

気象状況

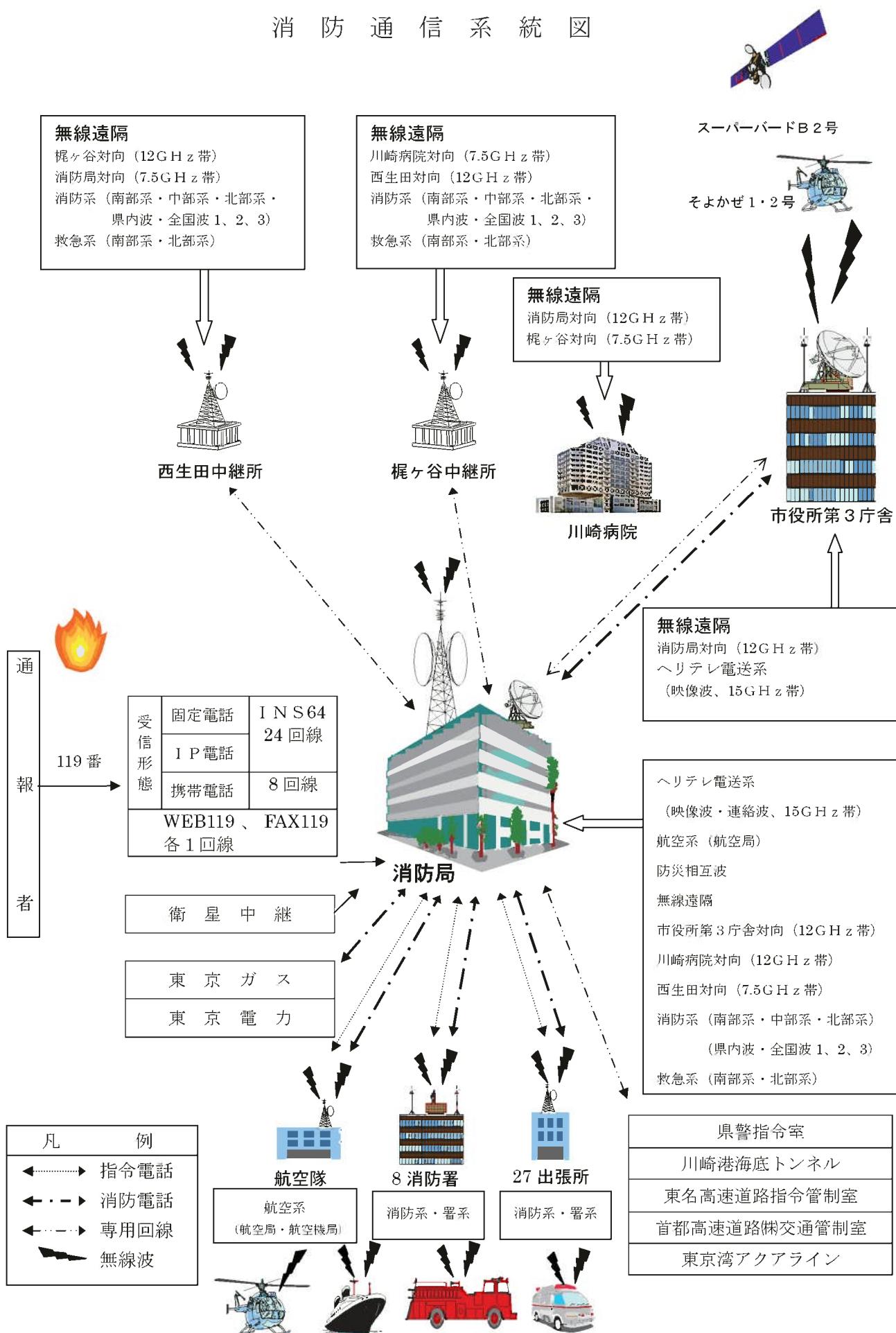
(平成23年中)

区分	平均 (合計)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
天気	晴	161	28	12	19	12	10	8	12	12	14	8	8
	くもり	148	3	12	8	17	12	13	13	13	14	19	17
	一時雨(雪)	41	-	2	2	-	5	8	6	6	1	3	5
	雨(雪)	15	-	2	2	1	4	1	-	-	1	1	2
最多風向		-	NW	NNW	NNW	SSE	NNE	SSW	NNE	NNE	SW	N	NNE
風速	最大(m/s)	-	21.0	25.0	24.8	23.2	23.7	21.7	22.1	19.6	40.7	23.4	27.2
	平均(m/s)	4.0	3.3	4.0	4.1	5.1	4.2	3.6	4.7	3.6	4.6	4.0	3.1
気温	最高(℃)	-	12.2	20.2	18.4	24.0	28.6	34.1	32.8	35.0	31.9	28.9	22.4
	最低(℃)	-	-1.3	0.2	0.6	4.4	11.8	11.9	17.9	19.4	16.9	10.7	7.0
	平均(℃)	16.2	5.1	6.9	7.8	14.2	18.2	22.3	26.7	27.1	25.0	19.1	14.8
相対湿度	最高(%)	-	80.0	94.0	93.0	92.0	96.0	96.0	95.0	97.0	96.0	95.0	97.0
	最低(%)	-	7.0	18.0	12.0	9.0	12.0	35.0	47.0	45.0	33.0	21.0	17.0
	平均(%)	61.3	37.0	56.0	51.0	53.0	67.0	76.0	73.0	75.0	72.0	63.0	62.0
総降雨量(ミリ)		1,082.5	0.0	100.0	58.0	63.0	187.0	137.0	65.5	120.0	120.5	86.5	110.5
													34.5

(注) 1 天気については、消防局総合庁舎周辺のデータです。

2 天気以外の気象状況は、消防局総合庁舎屋上に設置された気象観測装置のデータです。

消防通信系統図



月 別 航 空

区 分		合	災 害 出 場					消 防			
			火	救	救	警	応	演	警	調	広
			災	急	助	戒	援	習	戒	查	報
計	計	298	27	1	9	10	5	18	52	-	-
	飛行件数	(346)	(35)	(-)	(15)	(6)	(1)	(26)	(57)	(4)	(3)
合計	飛行時間	454:05	16:40	0:45	4:37	8:08	30:00	17:35	62:09	-	-
		(450:05)	(18:18)	(-)	(6:12)	(4:30)	(1:10)	(32:34)	(75:42)	(4:10)	(2:31)
	比率(%)	100%	3.7%	0.1%	1.0%	1.7%	6.6%	3.7%	13.4%	0.0%	0.0%
		(100%)	(4.1%)	(0.0%)	(1.4%)	(1.0%)	(0.3%)	(7.2%)	(16.8%)	(0.9%)	(0.6%)
1月	飛行件数	34	7	-	-	-	-	-	6	-	-
	飛行時間	36:40	3:33	-	-	-	-	-	6:37	-	-
2月	飛行件数	16	3	-	-	1	-	1	3	-	-
	飛行時間	14:15	1:25	-	-	0:35	-	0:45	3:00	-	-
3月	飛行件数	30	3	-	-	5	1	1	5	-	-
	飛行時間	41:05	1:30	-	-	4:38	3:35	0:25	5:37	-	-
4月	飛行件数	5	2	-	-	1	2	-	-	-	-
	飛行時間	26:15	1:10	-	-	0:45	24:20	-	-	-	-
5月	飛行件数	19	3	-	-	1	1	2	-	-	-
	飛行時間	22:35	1:15	-	-	1:00	1:05	1:55	-	-	-
6月	飛行件数	9	1	-	-	-	-	3	1	-	-
	飛行時間	7:35	0:30	-	-	-	-	2:20	0:50	-	-
7月	飛行件数	28	2	-	-	-	1	2	4	-	-
	飛行時間	37:05	2:32	-	-	-	1:00	1:50	3:10	-	-
8月	飛行件数	33	-	-	5	-	-	1	7	-	-
	飛行時間	41:30	-	-	2:25	-	-	0:45	6:30	-	-
9月	飛行件数	34	1	-	1	-	-	1	9	-	-
	飛行時間	66:55	1:00	-	0:20	-	-	1:05	11:10	-	-
10月	飛行件数	30	1	1	-	1	-	2	8	-	-
	飛行時間	54:05	0:30	0:45	-	0:35	-	1:40	11:30	-	-
11月	飛行件数	27	3	-	-	-	-	4	4	-	-
	飛行時間	47:00	2:25	-	-	-	-	6:00	6:05	-	-
12月	飛行件数	33	1	-	3	1	-	1	5	-	-
	飛行時間	59:05	0:50	-	1:52	0:35	-	0:50	7:40	-	-

(注1) 飛行件数及び飛行時間は、回転翼航空機1・2号機の合計です。

(注2) 合計欄の上段は平成23年中、下段()内は平成22年中です。

隊 活 動 状 況

(平成23年中)

業 務			航 空 隊 業 務							行 政 業 務			
行 事	訓 練	撮 影	操 縦 訓 練	救 助 訓 練	調 査	空 輸	檢 査	試 験 飛 行	広 報	調 査 視 察	撮 影	そ の 他	
9	15	-	66	12	38	4	-	19	-	12	1	-	
(12)	(13)	(-)	(54)	(22)	(44)	(4)	(15)	(11)	(-)	(21)	(3)	(-)	
9:20	42:55	-	139:45	24:15	41:21	10:40	-	30:20	-	14:35	1:00	-	
(14:20)	(41:15)	(-)	(95:15)	(42:20)	(52:07)	(8:50)	(12:26)	(10:50)	(-)	(24:20)	(3:15)	(-)	
1.8%	9.3%	0.0%	30.6%	5.2%	8.9%	2.0%	0.0%	6.5%	0.0%	5.0%	0.5%	0.0%	
(3.2%)	(9.2%)	(0.0%)	(21.2%)	(9.4%)	(11.6%)	(2.0%)	(0.5%)	(2.4%)	(0.0%)	(5.3%)	(0.6%)	(0.0%)	
9	-	-	3	1	4	1	-	1	-	2	-	-	
9:20	-	-	4:05	2:00	4:15	3:00	-	1:00	-	2:50	-	-	
-	-	-	2	-	3	-	-	1	-	2	-	-	
-	-	-	1:50	-	2:55	-	-	1:05	-	2:40	-	-	
-	1	-	4	1	3	1	-	5	-	-	-	-	
-	1:40	-	6:00	1:55	3:30	2:20	-	9:55	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	4	4	2	1	-	1	-	-	-	-	
-	-	-	4:30	7:50	1:10	3:00	-	0:50	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	3:55	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	4	1	5	1	-	8	-	-	-	-	
-	-	-	6:20	1:50	4:38	2:20	-	13:25	-	-	-	-	
-	1	-	10	-	6	-	-	2	-	1	-	-	
-	3:20	-	21:05	-	5:45	-	-	0:40	-	1:00	-	-	
-	-	-	10	3	7	-	-	-	-	2	-	-	
-	-	-	38:00	5:00	8:10	-	-	-	-	2:10	-	-	
-	4	-	8	-	1	-	-	1	-	2	1	-	
-	11:10	-	19:10	-	2:00	-	-	3:25	-	2:20	1:00	-	
-	4	-	10	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
-	11:15	-	18:15	2:00	-	-	-	-	-	1:00	-	-	
-	5	-	11	1	3	-	-	-	-	2	-	-	
-	15:30	-	20:30	3:40	5:03	-	-	-	-	2:35	-	-	

航空隊用資機材配置状況

(平成24年4月1日現在)

資機材名	数量
減圧式固定担架	2
チタン製バスケットストレッチャー	1
バーティカルストレッチャー	1
舟形担架	1
サーバイバースリング	5
バスケットスリング	1
フローティング担架	1
簡易縛帶	4
ベストスリング	1
リペリング用安全帯	23
機上用安全ベルト	8
大型油圧救助器具(手動式)	1
エンジンカッター	1
空気破壊工具	1
簡易破壊工具	2
可搬式ワインチ	1
8 環	33
アンカースリング	20
空気呼吸器(本体)	5
空気ボンベ(8型)	14
空気ボンベ(14型)	2
酸素ボンベ(2型)	4
炭酸ガスボンベ(1.6型)	2
救命浮環(大型船舶用)	6
救命浮環(小型船舶用)	10
救命浮環(膨張式船舶用)	10
救命用ゴムボート	1

資機材名	数量
航空機用救命ボート(機体専用)	1
プロライドスピードボード	2
灯浮標	1
拡声装置(機体固定装備)	2
ドリップタブ	2
ハイデンシティシート	3
カーゴフック装置	2
ストレッチャー	1
スクープストレッチャー	1
人工造血器	1
心肺造血用背板	2
陰圧式固定具	1
救命胴衣	12
大型投光器	1
非常用発電設備一式	1
救助用訓練人形	3
担架装置(機体専用)	2
サーチライト(機体専用)	2
ホイスト装置	2
リペリング装置	2
散水バケット(自立式500ℓ)	1
空中消火用タンク(600ℓ)	1
空中消火用タンク(800ℓ)	1
給水専用管そう	2
簡易水槽(1,200ℓ)	1
可搬式ポンプ一式	1